

ARCHITREND ZERO シリーズ

Q & A

共通機能？
図面印刷？



「共通機能／
図面印刷」の
お困りごと

お困りごとを解決！

疑問に思っていることを
わかりやすく解説します。



目次

共通機能

Q：物件データを ZERO で管理している場合、物件フォルダを追加する方法	1
Q：別物件の図面を複製する方法	3
Q：「未知のバージョンで作成されたデータです。」が表示されたときの対処方法	5
Q：3D カタログマスタや Archi Master の部品や建具が表示されないときの対処方法	6
Q：ZERO の解説資料を利用する方法	7
Q：自動的にバックアップする方法	9
Q：一部のレイヤを非表示にする方法	11
Q：建物のまわりの枠（作図範囲）を任意の大きさに変更する方法	13
Q：建物の高さ情報を変更する方法	14
Q：建物の階数を 2 階から 3 階に変更する方法	15
Q：物件初期設定（基準高さ情報）で床高を土台より下げることができるか	17
Q：物件マスタの登録方法	19
Q：物件作成途中に、物件マスタを変更する方法	21
Q：物件データのインポートで変わってしまったマスタを元のマスタに戻す方法	23
Q：部屋を追加する方法	26
Q：各仕上・部屋・外部標準マスタの作り方	29
Q：3D カタログマスタや Archi Master の建具、部品を初期で表示されるようにする方法	30
Q：JWW データ変換時にレイヤの割り付けを行う方法	32
Q：読み込んだ JWW データ、DXF データの縮尺が合っていないときの対処方法	35
Q：Jw_cad データ、DXF データを立体化する方法	38
Q：複数の図面を JWW データに書き出す方法	46

図面印刷

Q：Jw_cad で作成した図枠を登録する方法	48
Q：図面の縮尺を変更して印刷する方法	52
Q：配置した図面のタイトルを変更する方法	54
Q：配置した図面の一部が表示されないときの対処方法	55
Q：元の図面に変更した作図範囲を反映する方法	57
Q：モノクロ（白黒）で印刷する方法	58
Q：線分を赤色で出力する方法	59
Q：図面を PDF に出力する方法	62

共通機能

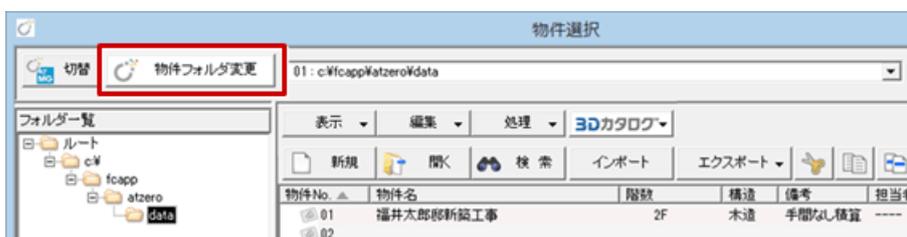


物件データを ZERO で管理している場合、物件フォルダを追加する方法を教えてください。

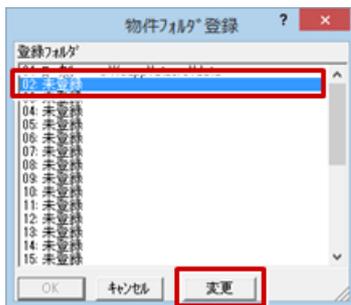


「物件選択」ダイアログの「物件フォルダ変更」で、物件フォルダを追加できます。

1 「物件選択」ダイアログの「物件フォルダ変更」をクリックします。



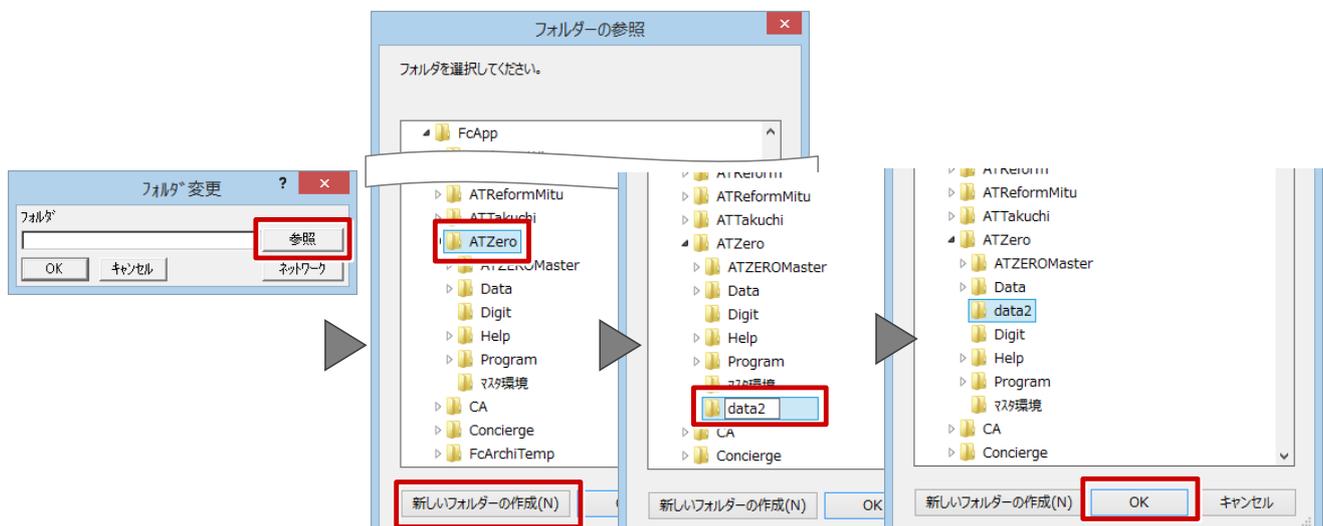
2 「物件フォルダ登録」ダイアログで未登録欄を選んで、「変更」をクリックします。



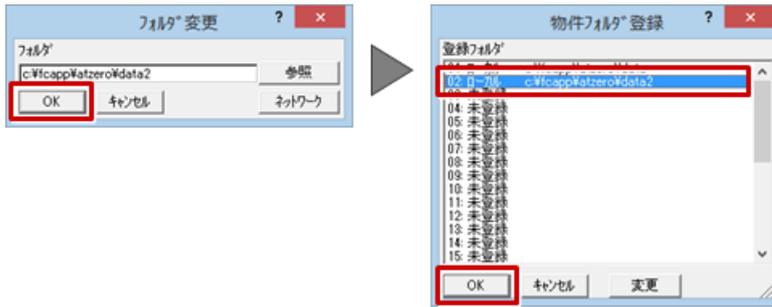
3 「フォルダ変更」ダイアログの「参照」をクリックして、使用するフォルダを選びます。または「新しいフォルダーの作成」をクリックし、フォルダを作成して選びます。

フォルダを選択したら「OK」をクリックします。

※ ここでは「data2」というフォルダを追加しています。



- 4 「フォルダ変更」ダイアログの「OK」をクリックします。
「物件フォルダ登録」ダイアログで使用する物件フォルダを選びます。



- 5 「物件選択」ダイアログのフォルダ一覧から、物件フォルダを切り替えることができます。



- 物件フォルダの登録を解除するには、登録フォルダのパスを削除します。



共通機能



別物件の図面を複写する方法を教えてください。

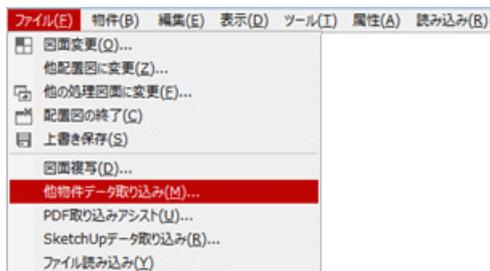


「ファイル」メニューの「他物件データ取り込み」を使用して、他の物件で作成した図面を取り込みます。

ここでは、配置図を取り込む操作を解説します。

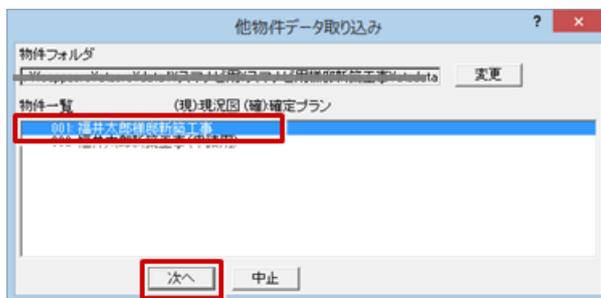
1

配置図を開いて、「ファイル」メニューから「他物件データ取り込み」を選びます。



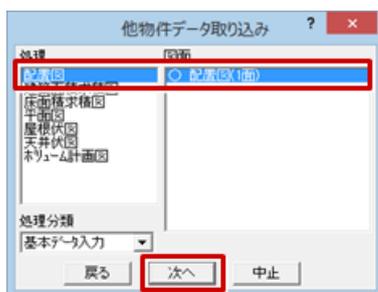
2

「他物件データ取り込み」ダイアログで、取り込む図面の物件を選んで「次へ」をクリックします。



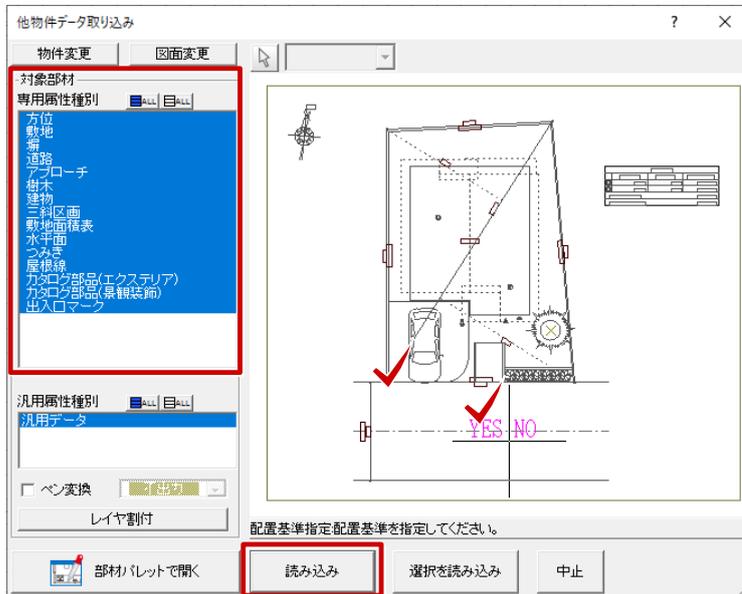
3

取り込む図面を選び、「次へ」をクリックします。

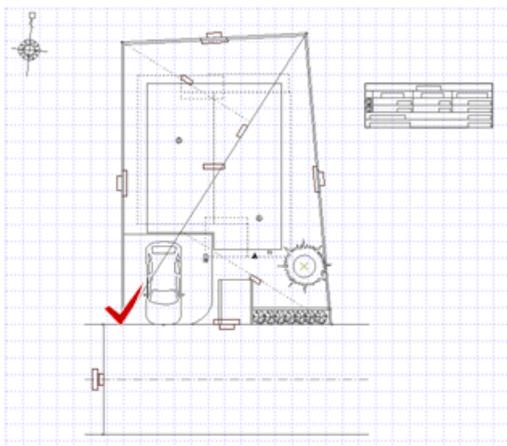


4 取り込む対象の部材を確認し、「読み込み」をクリックします。

5 図面を配置する際の基準位置を指定して、マウスの左ボタンをクリックします。
※ ダイアログが開いたときは、すべての部材が選択されています。取り込まない部材は選択から外します。



6 取り込む図面の配置位置をクリックします。



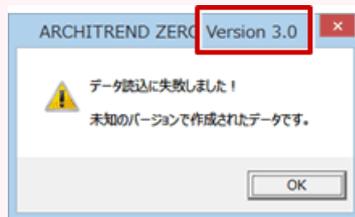
共通機能



「未知のバージョンで作成されたデータです。」というメッセージが表示されたときの対処方法について教えてください。



メッセージのタイトルにお使いのプログラムのバージョンが表示されます。
これより上位バージョンで作成したデータを開いた場合に、このメッセージが表示されます。
このようなデータを開くには、お使いのプログラムに最新版にアップグレードしてください。



※データが作成されたバージョンより下位のバージョンでは、データを開くことはできません。

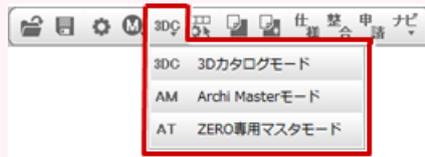
共通機能



3Dカタログマスタおよび Archi Master の部品や建具が表示されないときの対処方法を教えてください。

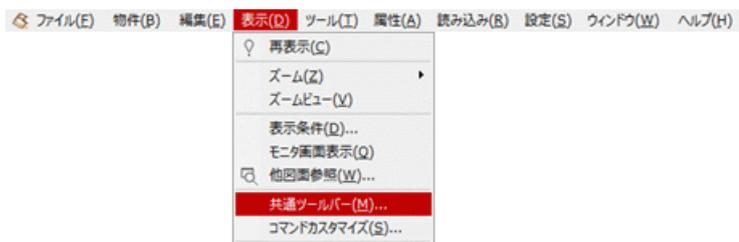


ツールバーの「建材マスタモード切替」でモードを切り替えて、「部品」や「建具」のコマンドを実行してください。切り替えたマスタモードの部品や建具の一覧が表示され入力できます。

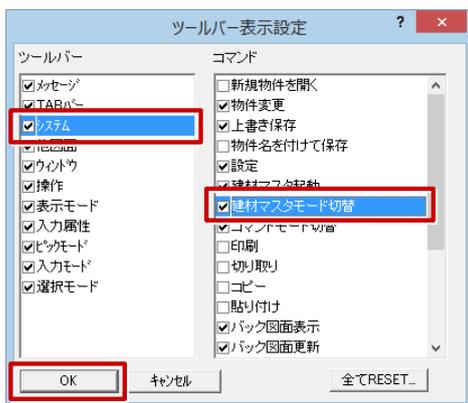


ツールバーに「建材マスタモード切替」を表示されていない場合

1 「表示」メニューから「共通ツールバー」を選びます。



2 「ツールバー表示設定」ダイアログの「ツールバー」で「システム」、「コマンド」で「建材マスタモード切替」のチェックをONにして、「OK」をクリックします。



3 ツールバーの「建材マスタモード切替」が表示され、モードを切り替えます。



共通機能



ZERO の解説資料を利用する方法について教えてください。



「ヘルプ」メニューの「ヘルプを開く」からヘルプのホームページを開き、「動画・マニュアル」から表示される Web ページより最新のマニュアルや資料をダウンロードできます。

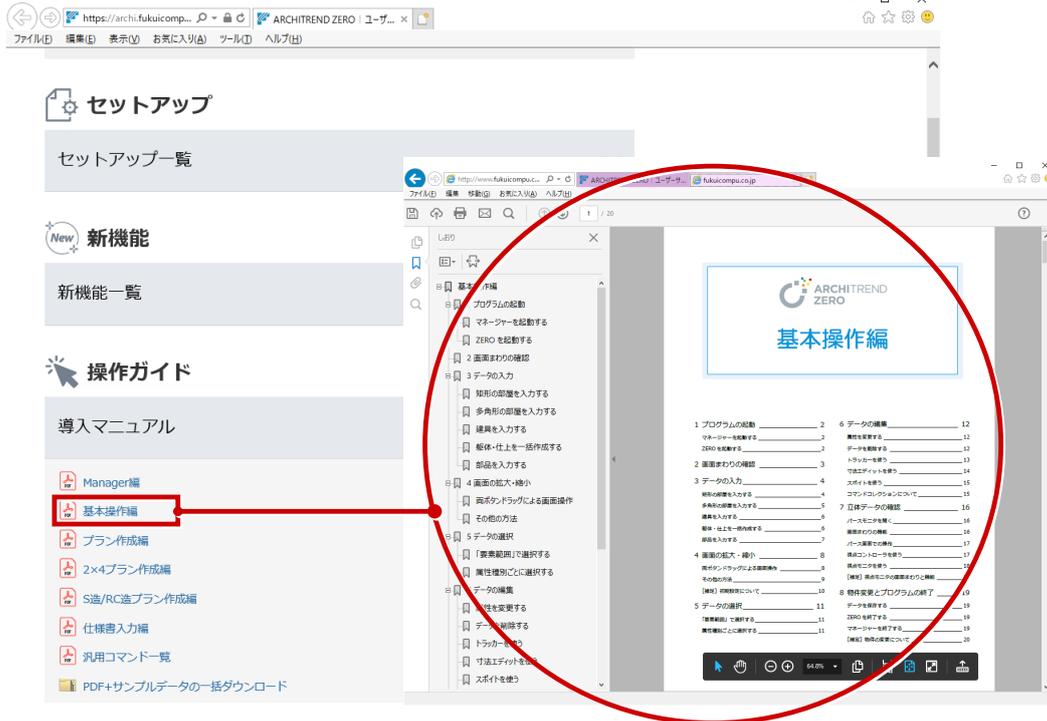
1 「ヘルプ」メニューから「ヘルプを開く」を選びます。



2 「動画・マニュアル」をクリックします。



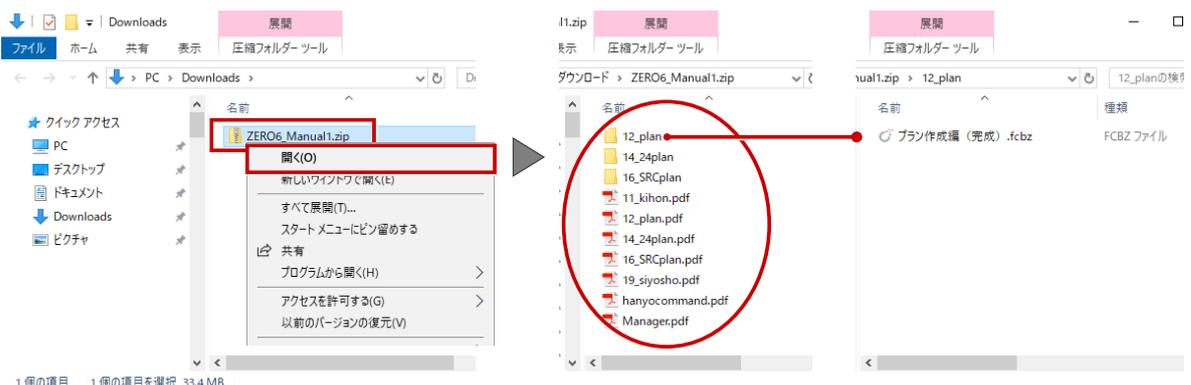
3 マニュアルや資料のタイトルをクリックすると、その PDF ファイルが開きます。



・項目内の PDF とサンプルデータをまとめてダウンロードするには、「PDF+サンプルデータの一括ダウンロード」をクリックして、ファイルをローカルディスクに保存します。



保存したファイルを開きます。



※サンプルデータ (fcbz) は ZERO の「物件選択」ダイアログの「インポート」で取り込むことができます。

共通機能



自動的にバックアップする方法を教えてください。

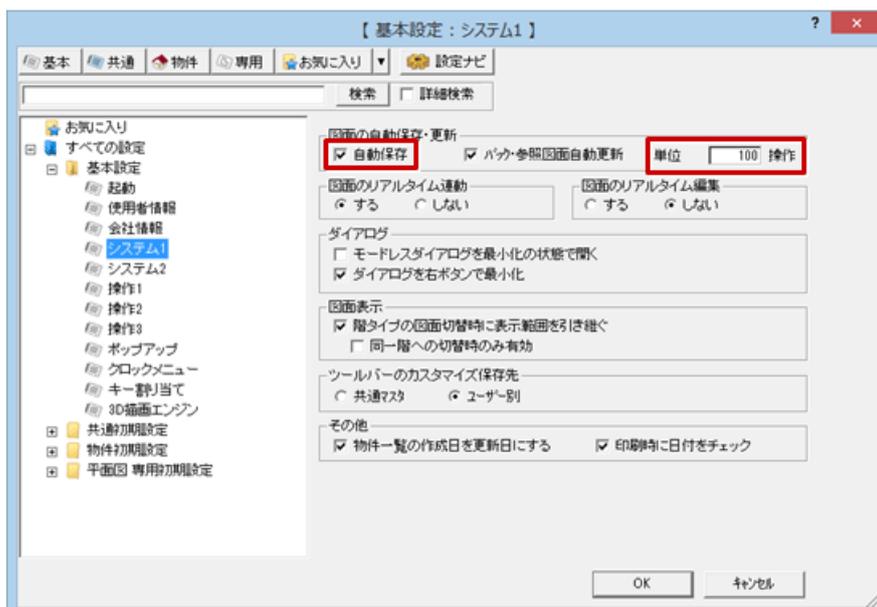


「基本設定：システム1」の「自動保存」をONにして、自動保存の間隔を操作数単位で設定します。

1 「設定」をクリックします。



2 「基本設定：システム1」の「自動保存」をONにします。
自動保存の間隔は、操作数単位で設定します。例えば、100 操作ごとにバックアップファイルを更新するときは「100」と設定します。



データを復元するには

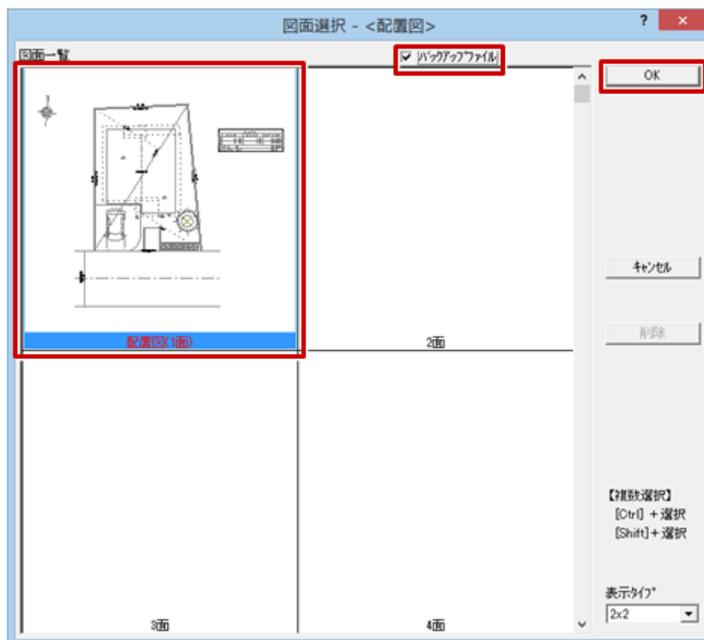
作業中にデータが壊れたときなど、バックアップファイル (*.e\$d) からデータを復元するには次のように操作します。

1 復元する対象図面プログラムを開きます。

2 「ファイル」メニューから「バックアップファイル復元」を選び、「はい」をクリックします。



- ・「上書き保存」でデータが正常に保存された場合、バックアップファイル (*.e\$d) は自動的に削除されるため、「バックアップファイル復元」を実行することはできません。
- ・対象図面のバックアップファイルが保存されている場合、「図面選択」ダイアログにある「バックアップファイル」をONにして図面を選択する方法でも、データの復元が可能です。



Q

一部のレイヤを非表示にする方法を教えてください。

A

「レイヤ表示・検索設定」で非表示にするデータを選びます。多くの線分が表示されていてデータを編集しづらい場合に、編集に不要な線分を一時的に非表示すると、編集しやすくなります。また、一部のレイヤが非表示の状態をレイヤマップに登録しておく、今後はレイヤマップを呼び出すことでデータの表示・非表示を切り替えることができます。

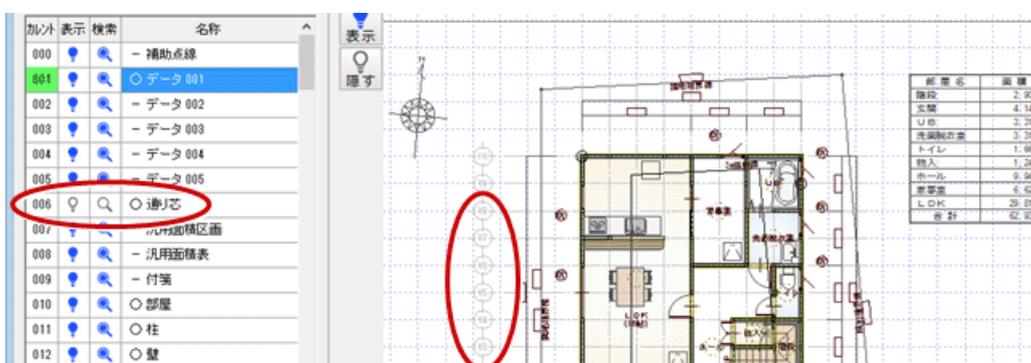
1 「レイヤ表示・検索設定」をクリックします。



2 例えば、通り芯を非表示にするには、モニタ上で通り芯を選んで「隠す」をクリックします。



3 通り芯がすべて非表示となり、レイヤ「006 通り芯」が OFF に変更されたことを確認できます。

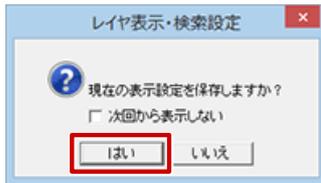


4 同様な操作で、非表示にしたいデータを隠します。

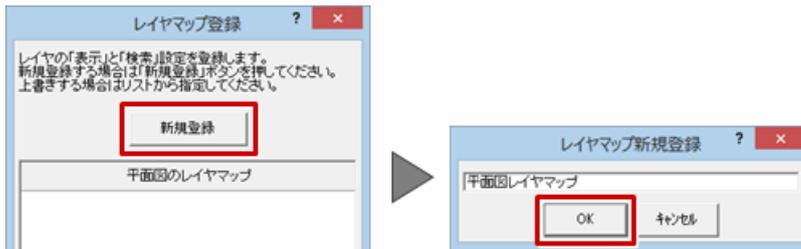
5 「レイヤ表示・検索設定」ダイアログの「OK」をクリックします。



6 保存の確認画面が表示されます。
現在のレイヤ表示・非表示の状態を登録する場合は「はい」、今回のみの場合は「いいえ」を選びます。



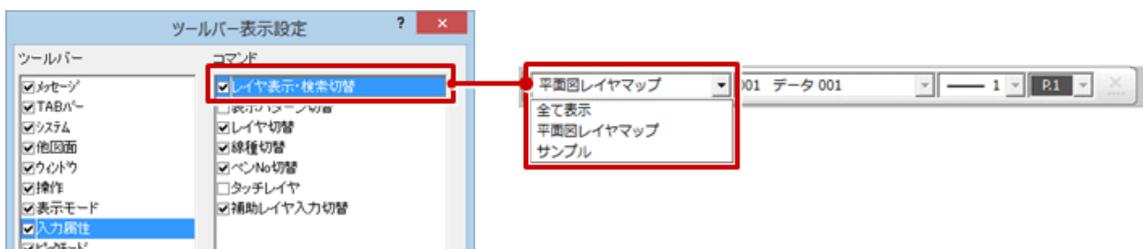
7 「レイヤマップ登録」ダイアログの「新規登録」をクリックして、レイヤマップの名称を設定します。



8 「レイヤ表示・検索設定」をクリックして、レイヤマップを切り替えます。



・共通ツールバー（入力属性）に「レイヤ表示・検索切替」を表示しておくと、ツールバーからレイヤマップを切り替えることができます。



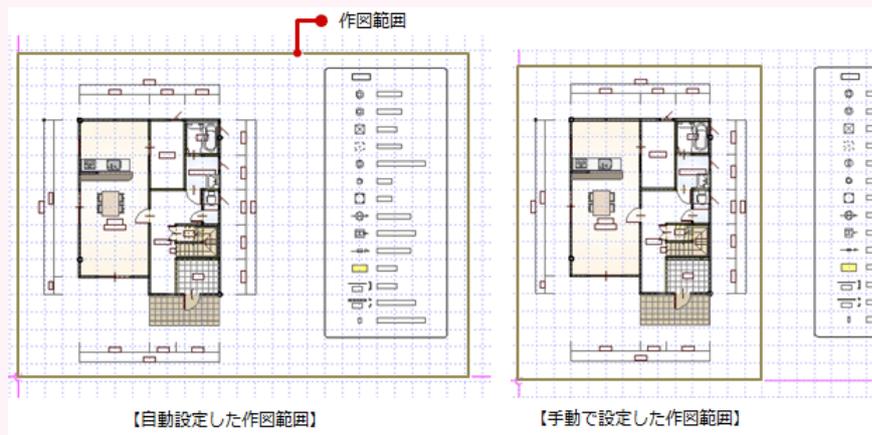
Q

建物のまわりの枠（作図範囲）を任意の大きさに変更する方法を教えてください。

A

「設定」メニューの「作図範囲」で作図範囲を設定する際、ポップアップメニューの「OK」ではなく、マウスを使って範囲を指定します。

任意の範囲を作業エリアとしたいときなどに便利です。



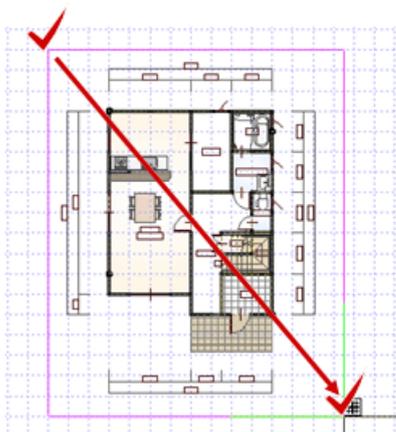
1

「設定」メニューから「作図範囲」を選びます。



2

作業エリアとする範囲の1点目と2点目をクリックします。



共通機能



建物の高さ情報を変更する方法を教えてください。



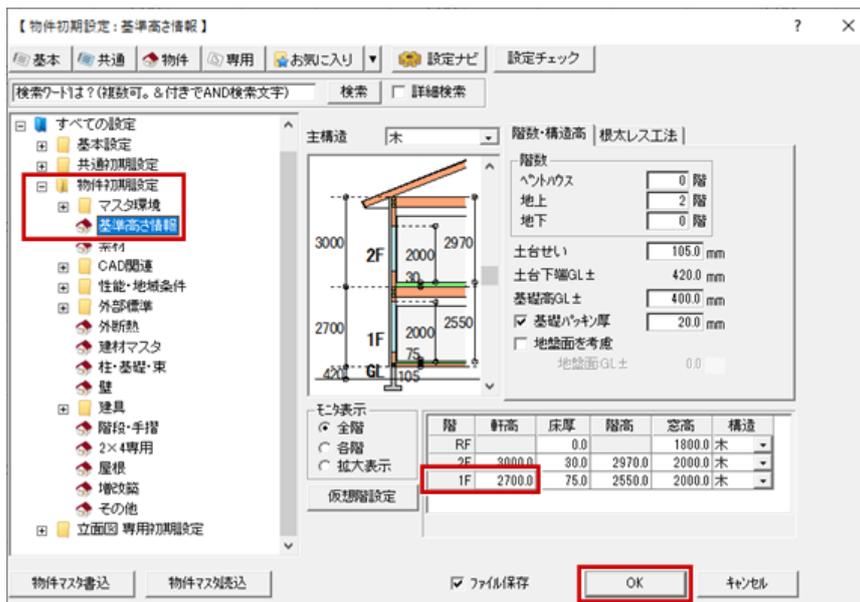
「物件初期設定：基準高さ情報」で設定します。変更後は、立面図やパースモニタなどの再作成が必要です。

1 「設定」をクリックします。



2 「物件初期設定：基準高さ情報」で建物の高さを設定します。

ここでは、1Fの「軒高」の数値を「3000」から「2700」に変更して、「OK」をクリックします。



3 立面図で、「自動」メニューから「4面自動立上」を選び、立面図を再作成します。



共通機能



建物の階数を 2 階から 3 階に変更する方法を教えてください。



「物件初期設定：基準高さ情報」で階数を変更します。

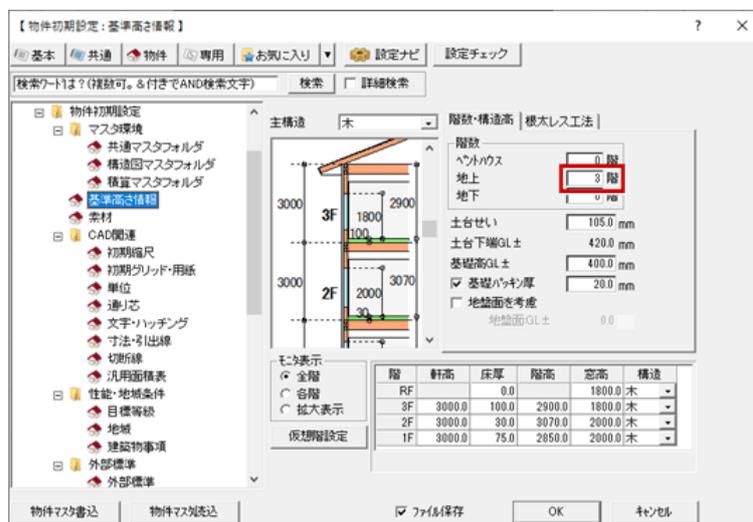
1 ツールバーの「設定」をクリックします。



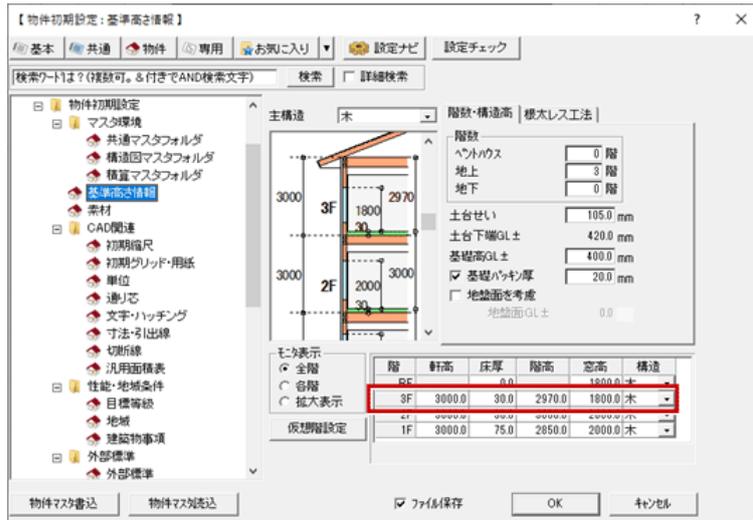
2 「物件」をクリックし、ツリーから「基準高さ情報」をクリックします。



3 「階数」の「地上」を「2」から「3」に変更します。



4 3階の「軒高」や「床厚」「構造」を確認し、設定します。



5 設定できたら、「OK」をクリックします。



共通機能



物件初期設定（基準高さ情報）で床高を土台より下げることができるか教えてください。



床高（FL）は、物件初期設定（基準高さ情報）の各階の床厚で決まります（-値の入力不可）。床高を土台よりも下げることができないため、部屋属性で床高を調整してください。

1 「属性変更」をクリックします。



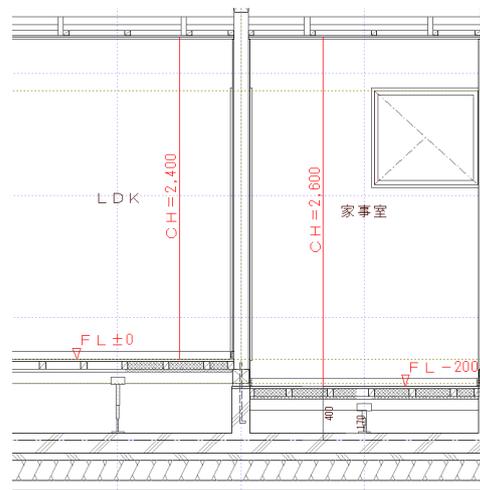
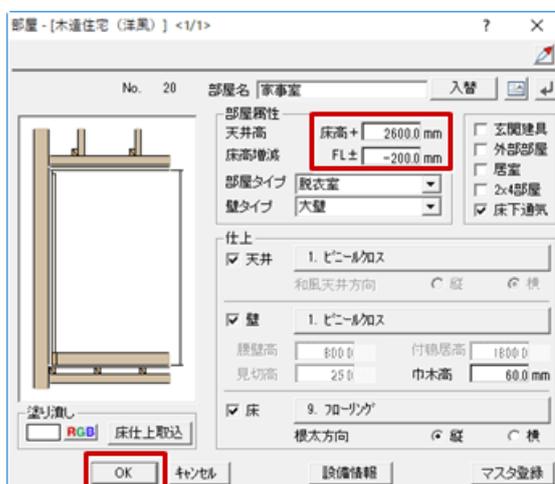
2 床高を下げる部屋をクリックします。



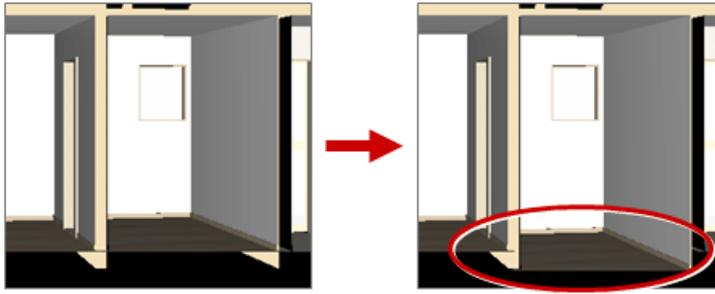
3 「部屋」ダイアログの「床高増減」を変更します。
FL - 200 mmの位置を床仕上とするときは、「-200」に変更します。

4 他の部屋と天井の位置を合わせるときは、「天井高」を変更します。
他の部屋の天井高が FL + 2400 mmの位置のとき、「2600」と変更します。

5 「OK」をクリックします。



6 パースモニタで立体データを再作成します。



・立面図や矩計図、断面図でも FL の描画位置を変更したい場合は、汎用修正が必要です。

共通機能



物件マスタの登録方法を教えてください。



「物件初期設定」の「物件マスタ書込」で、物件初期設定の内容を物件マスタに書き込みます。

1 物件初期設定の「物件マスタ書込」をクリックします。



2 未登録欄を選んで、「OK」をクリックします。

3 マスタ名称を設定して、「OK」をクリックします。
※既に作成されている物件マスタを選択すると、「物件初期設定」の内容が全て上書きされます。



4 次回、新規物件の作成時に物件マスタを指定できます。

物件情報 [新規] <1ページ>

物件の情報を入力します。
物件の構造や階数など必要な条件を入力してください。

物件 No. 002 作成日 2019/12/27

物件名 丸岡五郎様邸新築工事

備考

担当者 福井一郎

物件マスタ 21: サンプル 初期値に設定する

在来木造

- 12: 木造 2階 (布基礎)
- 13: 木造 2階 (布基礎)
- 14: 2×4造 2階 (布基礎)
- 15: RC造 5階 (マンション)
- 16: S造 3階店舗兼住宅
- 17:
- 18: 木造軸組パネル 2階
- 19: Modelio/Roomo3D連携
- 20:
- 21: サンプル
- 22:
- 23:
- 24:
- 25:
- 26:
- 27:

平面詳細図からの入力
 仕様書からの入力
仕様書の選択

仕様の選択

新築

次へ > 完了 キャンセル



・物件マスタの名称を変更するには、物件初期設定の「物件マスタ書込」から行います。

物件マスタ書込 <c:\%fcapp%\atzerog\atzeromaster\物...> ? ×

マスタ一覧

- 18: 木造軸組パネル 2階
- 18: Modelio/Roomo3D連携
- 20:
- 21: サンプル
- 22:
- 23:
- 24:
- 25:
- 26:
- 27:

OK キャンセル 削除

名称変更

名称変更 ? ×

マスタ名称 木造サンプル

OK キャンセル

共通機能



物件作成途中で、物件マスタを変更する方法を教えてください。



現在使用している物件マスタ No を確認し、物件初期設定にて変更したい物件マスタを読み込みます。その後、各図面の専用初期設定にて正しい専用マスタを読み込みなおします。

ここでは、平面図で説明します。

- 1 「物件」メニューから「物件情報」を選びます。



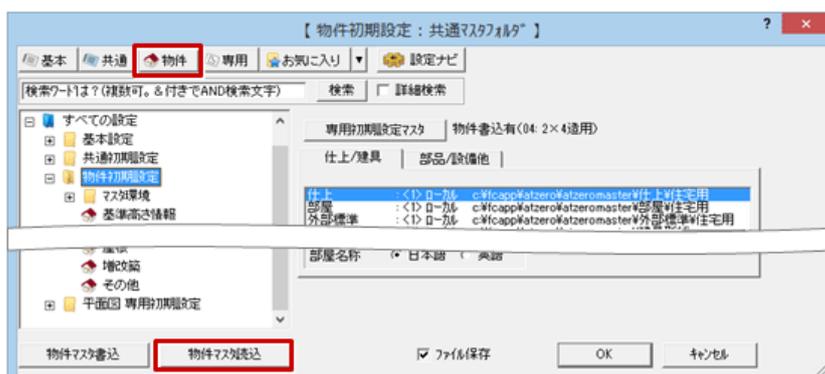
- 2 「物件情報 [変更]」ダイアログの「物件マスタ」に表示されているマスタの No を確認します。



- 3 「設定」をクリックします。



- 4 「物件初期設定」を開き、「物件マスタ読込」をクリックします。



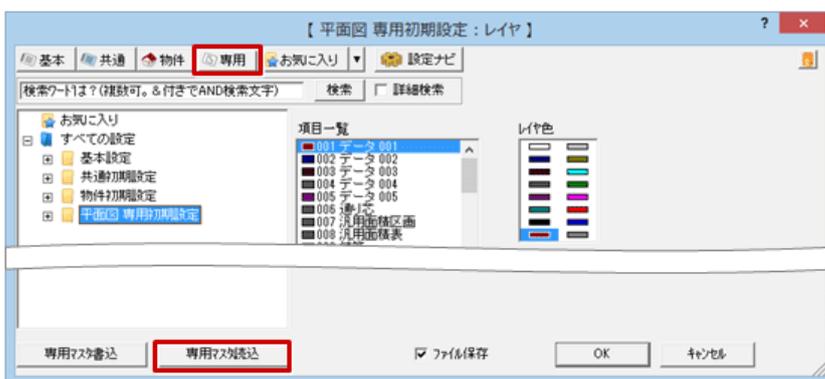
5 「物件マスタ読込」ダイアログで変更したい物件マスタを選び、「OK」をクリックします。

6 確認画面で「はい」をクリックします。



7 「専用」をクリックして、「専用初期設定」を開きます。

8 「専用マスタ読込」をクリックします。



9 「専用マスタ読込」ダイアログで変更したい専用マスタを選び、「OK」をクリックします。

10 確認画面で「はい」をクリックします。



・入力状況によっては、正しい物件マスタを選んで新規物件から始めることをお勧めします。

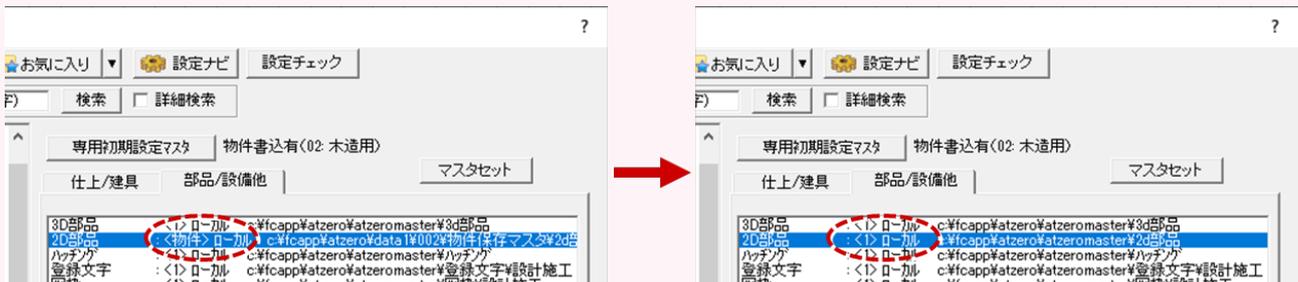
共通機能



他のマシンで出力した物件データをインポートしたら、マスタの内容が変わってしまいました。元のマスタに戻す方法を教えてください。



物件データをファイル出力する際にマスタも一緒に出力していると、インポートするとき物件専用のマスタとして取り込まれます。そのため、プログラムによっては普段と異なるマスタを使用していることがあります。元のマスタに戻すには、物件初期設定でマスタを切り替えます。



<物件>ローカル：物件データをファイル出力した ZERO のマスタ

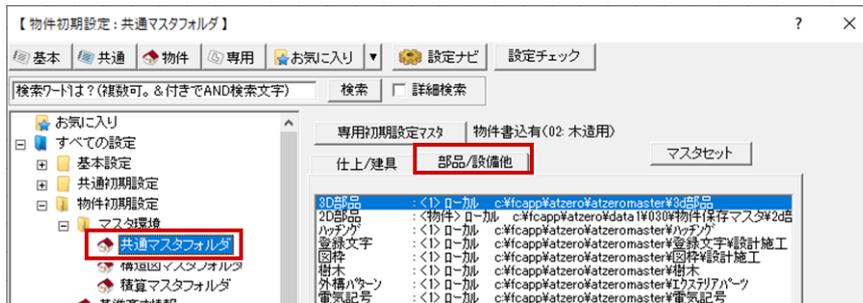
<1>ローカル：今開いている ZERO のマスタ

ここでは、2D 部品マスタがインポートによって変わってしまった場合に、元のマスタに戻す方法を解説します。

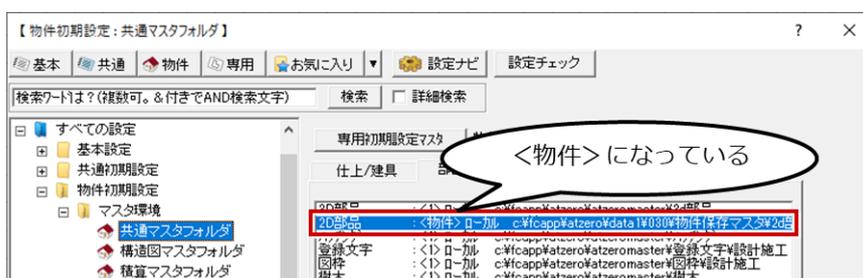
1 ツールバーの「設定」をクリックします。



2 「物件初期設定：マスタ環境－共通マスタフォルダ」の「部品/設備他」タブをクリックします。



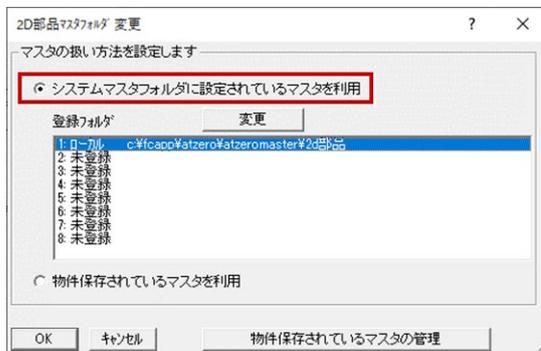
3 「2D 部品」をクリックして、マスタパスが「<物件>ローカル ○:¥FCAPP¥ATZERO¥（物件フォルダ）¥物件保存マスタ¥2d 部品」になっていることを確認します。



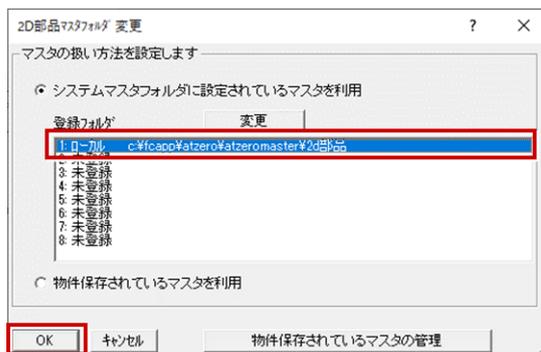
4 「変更」をクリックします。



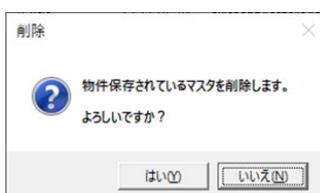
5 「システムマスタを設定されているマスタを利用」をONにします。



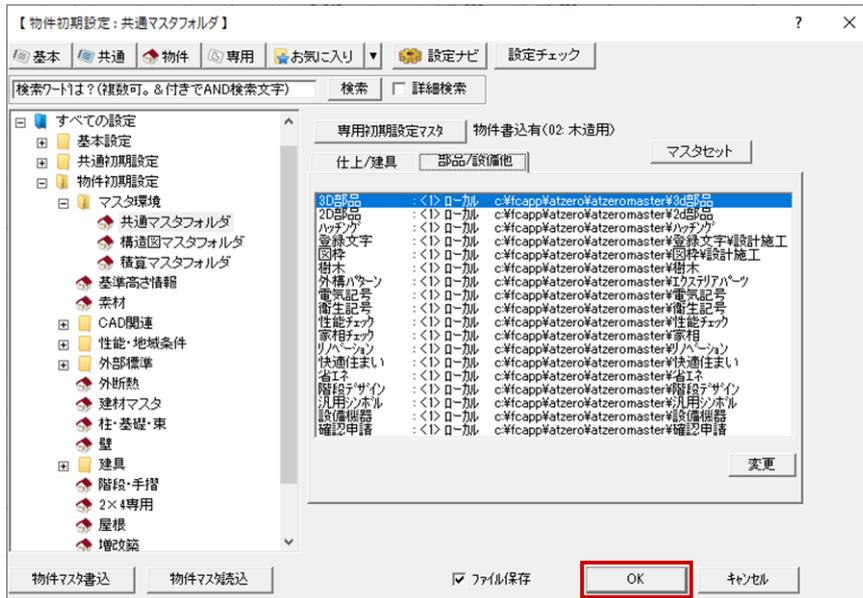
6 「登録フォルダ」で元のマスタフォルダを確認して、「OK」をクリックします。



7 物件フォルダに保存されているマスタを削除する確認画面が表示されるので、削除してよい場合は「はい」、残しておく場合は「いいえ」をクリックします。



8 「物件初期設定：マスタ環境－共通マスタフォルダ」の「OK」をクリックします。



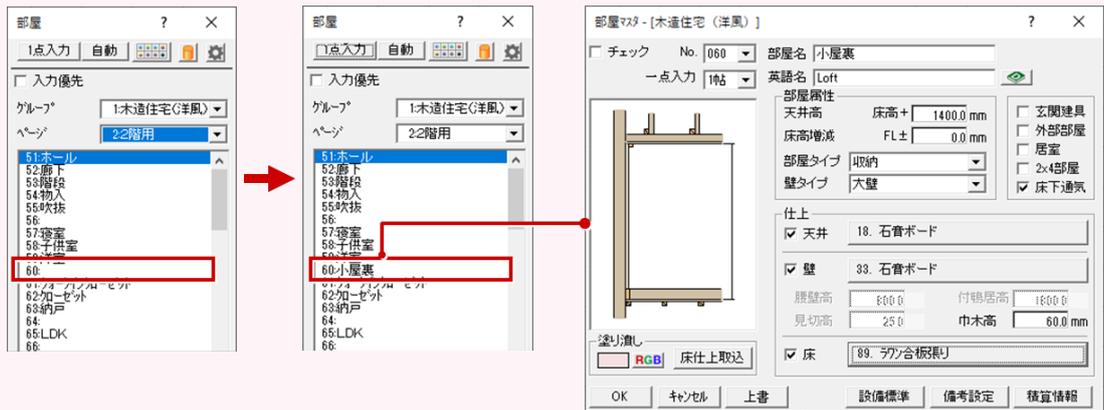
共通機能



部屋を追加する方法を教えてください。



部屋マスタで既存の部屋マスタを複製し、新しく追加した部屋マスタの各項目を設定します。



1 「建材マスタ起動」メニューから「共通マスタ起動」を選びます。



2 「内外装・部屋」から「部屋マスタ」を開きます。



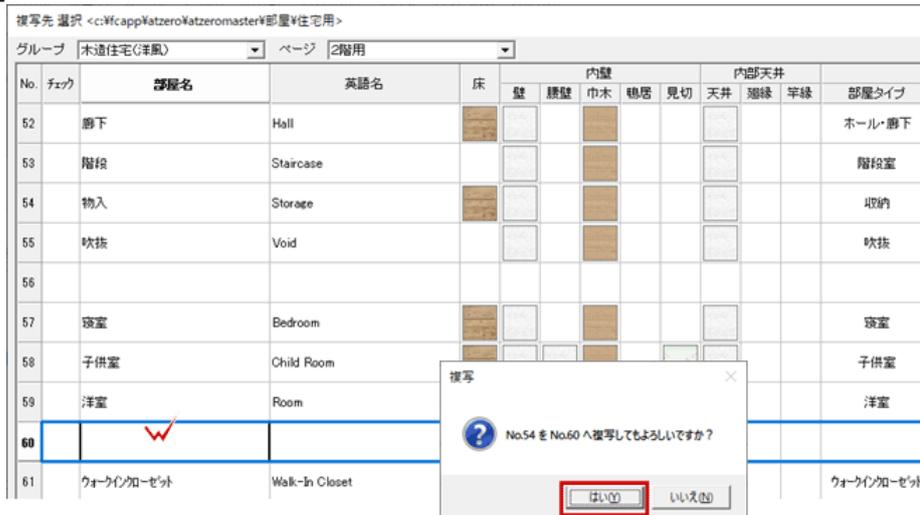
3 「グループ」「ページ」で、複製する部屋マスタが登録されているグループとページを選びます。

部屋マスタ選択 <c:\wcappp\kazeromaster\部屋マスタ住宅用>													
グループ		ページ		名付設定		個別編集		一覧編集					
No.	チェック	部屋名	英語名	床	壁	腰壁	巾木	鴨居	見切	天井	廻縁	宇縁	部屋タイプ
51		ホール	Hall										ホール・廊下
52		廊下	Hall										ホール・廊下
53		階段	Staircase										階段室

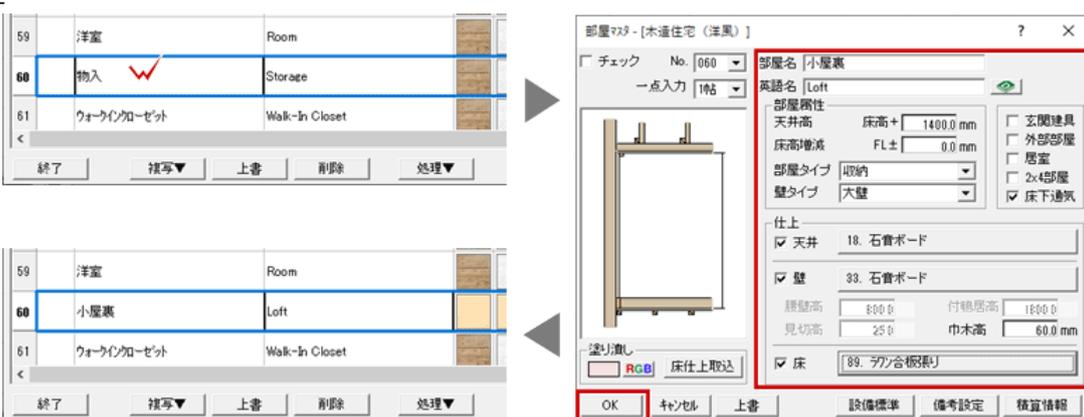
4 複写する部屋マスタを選択し、右クリックして「複写」を選びます。



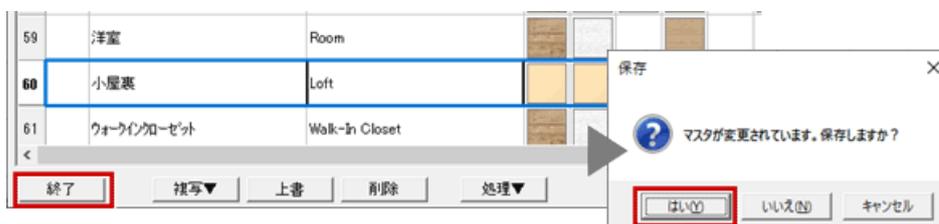
5 「複写先選択」ダイアログの一覧で複写先をダブルクリックし、確認画面で「はい」をクリックしま



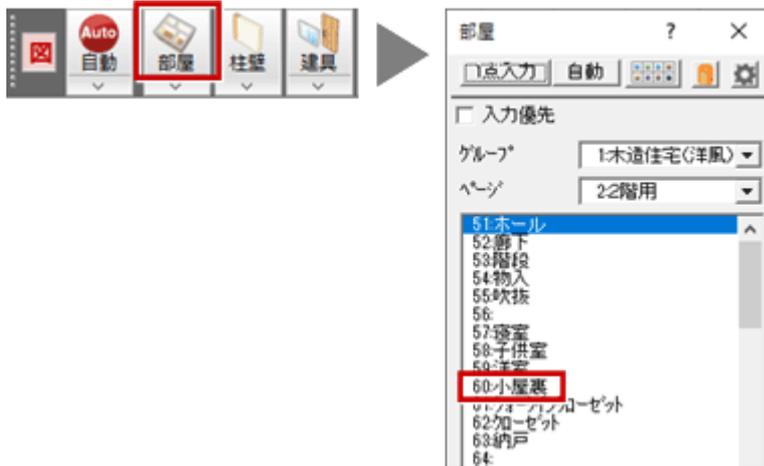
6 複写した部屋マスタをダブルクリックして、「部屋名」「部屋属性」「仕上」などの各項目を設定しま



7 「終了」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックします。



8 「部屋」をクリックすると、追加した部屋が表示されます。



共通機能



各仕上・部屋・外部標準マスタの作り方を教えてください。



各仕上・部屋・外部標準マスタの作り方は、ユーザーサポートサイトの「操作ガイド」にある「マスタ」の「自社マスタ作成編」を参照してください。

福井コンピュータアーキテクト株式会社 ユーザーサポート

お問い合わせ
福井コンピュータグループ
緊急案内
お問い合わせフォームへ

製品・サービスを探す ▾ イベント・セミナー ▾ ユーザーサポート ▾ 販売店様 ▾ グループサイト ▾

HOME > ユーザーサポート > ARCHITREND ZERO

ARCHITREND ZERO

サポート関連のお知らせ

- 2020/02/20 3Dカタログ サッシマスタ (LXSL製品)のガラス状態後の登録不備について
- 2020/02/06 【再掲】 ARCHITREND 見積の起動障害、予部なし見積のエラーについて
- 2020/01/21 McAfee Endpoint Security環境下でネット認証が認証・更新に失敗
- 2020/01/06 データの記憶媒体 (NAS / HDD等) に関するお知らせを更新しました
- 2020/01/06 (再掲載) セキュリティソフト誤認識に関する資料を更新

保守サポートサービスのご案内

電話サポートのご案内

各種ダウンロードのご案内

各種お手続き

セットアップ

セットアップ一覧

新機能

新機能一覧

操作ガイド

導入マニュアル

マスタ

- 自社マスタ作成編
- 3D部屋マスタ編
- マスタ同期編
- PDFの一括ダウンロード

3Dカタログ.com

過去バージョン

自社マスタ作成編

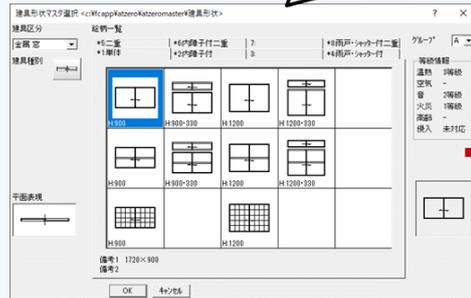


- ・ユーザーサポートサイトからマニュアルを参照するには、お使いのコンピュータがインターネットに接続されている環境が必要です。

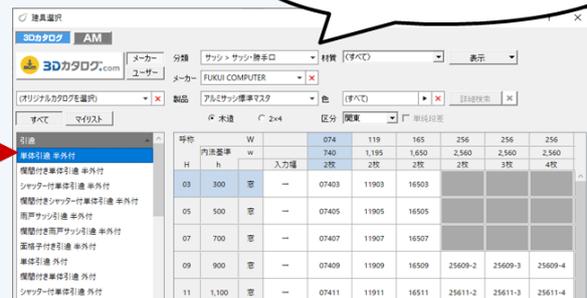
共通機能



RC造の物件を新規作成する場合、建具形状マスタや3D部品マスタが初期で表示されます。3DカタログマスタやArchi Masterの建具、部品を初期で表示されるようにする方法を教えてください。



【ZERO専用マスタモード（建具形状マスタ）】



【3Dカタログモード（3Dカタログマスタ）】



RC造の物件マスタの場合、「物件初期設定：建材マスタ」の「建材モード」の初期値が「ZERO専用マスタモード」になっています。「3Dカタログモード」や「Archi Masterモード」に切り替えて、物件マスタに書き込んでください。

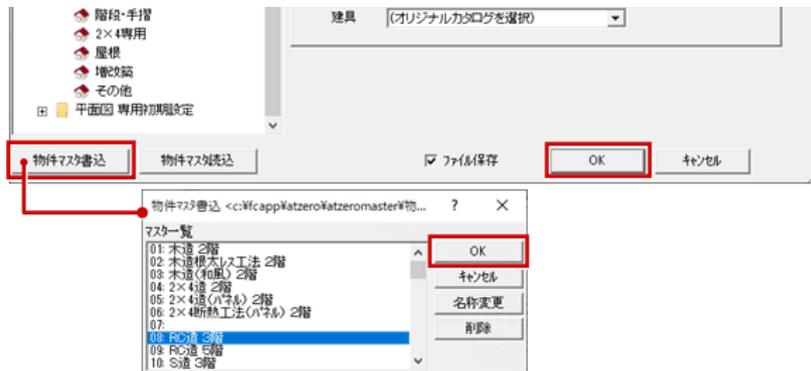
1 ツールバーの「設定」をクリックします。



2 「物件初期設定：建材マスタ」の「建材モード」を、「ZERO 専用マスタモード」から「3D カタログモード」もしくは「Archi Masterモード」に変更します。



3 「物件マスタ書込」をクリックして、RC造の物件マスタに書き込みます。「OK」をクリックして設定ダイアログを閉じます。



4 ツールバーの建材マスタモードが、設定したモードになっていることを確認できます。



- ・作業中の物件だけ、次回以降「ZERO 専用マスタモード」以外のモードを初期値にする場合は、手順4で「物件マスタ書込」を行わずに「物件初期設定」ダイアログの「ファイル保存」をONにして「OK」をクリックします。

共通機能



Q JWW データ変換時にレイヤの割り付けを行う方法を教えてください。



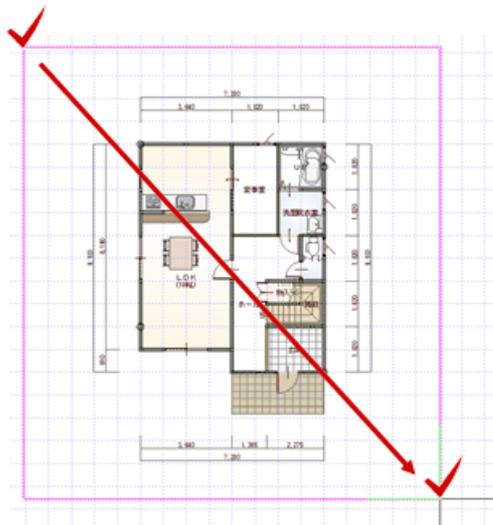
A 変換時に「レイヤ割付を任意で行う」を ON にして、割り付けを設定します。

なお、JWC 変換時にはレイヤの割り付けはできません。

1 「ファイル」メニューから「ファイル書き出し」の「JW_CAD 書き出し」を選びます。



2 変換する図面の範囲を指定します。



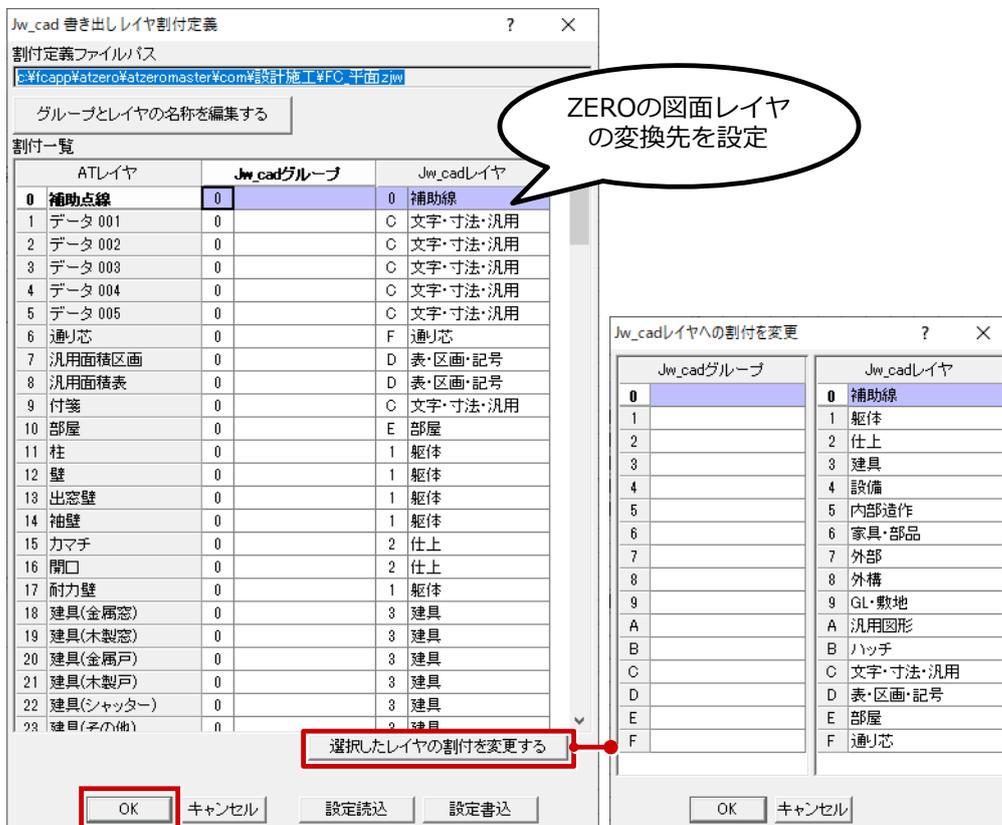
3 「JW_CAD 書き出し」ダイアログで書き込み先のフォルダとファイル名を設定して、「OK」をクリックします。



- 4 「Jw_cad 変換設定」ダイアログで「レイヤの割付を任意で行う」を ON にして、「割付定義を作成・編集する」をクリックします。



- 5 「Jw_cad 書き出し レイヤ割付定義」ダイアログで、ZERO の図面レイヤに対する Jw_cad のグループ、レイヤを指定します。変更する場合は、レイヤをダブルクリック、または「選択したレイヤの割付を変更する」をクリックして割り付けを設定します。設定が終わったら、「OK」をクリックします。



- ・手順2の「JW_CAD 書き出し」ダイアログが表示されたときに、ファイル形式を「jwc」にするとレイヤを割り付けることはできません。



6 「OK」をクリックすると、データが変換されます。



共通機能



読み込んだ JWW データ、DXF データの縮尺が合っていないときの対処方法を教えてください。

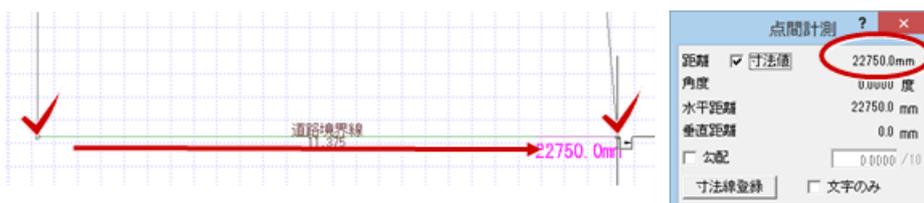


読み込んだデータで長さがわかっているところを計測し、その計測した数値をもとに、「変形」メニューの「伸縮」で伸縮します。

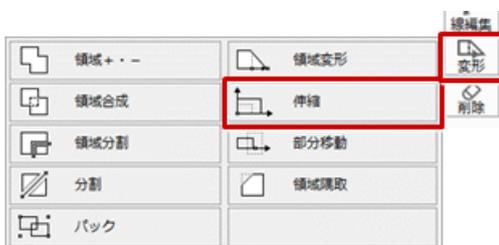
- 1 「情報」メニューから「線間計測」または「点間計測」を選びます。



- 2 寸法がわかっているところの距離の始点と終点をクリックします。計測した数値より実際の縮尺を算出します。



- 3 「変形」メニューから「伸縮」を選びます。



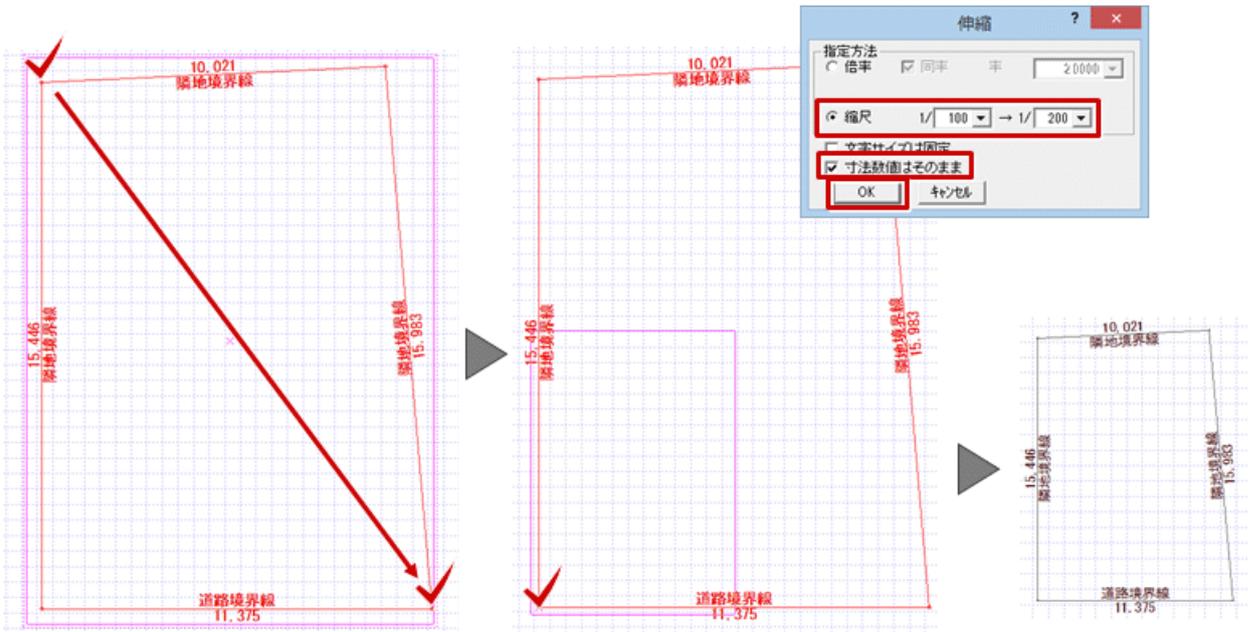
- 4 「伸縮」ダイアログの「数値指定」を ON にします。



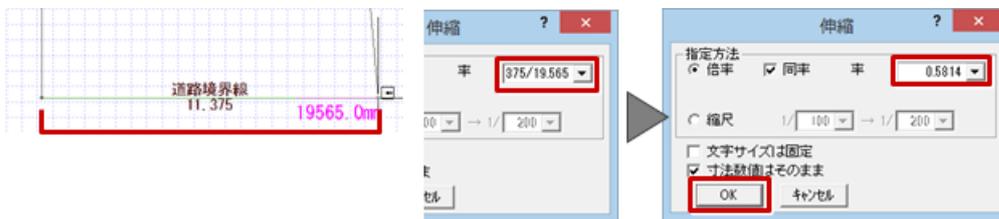
5 配置したデータを選択します。

6 伸縮する際の基準点をクリックします。

7 「伸縮」ダイアログで伸縮する方法を指定して、「OK」をクリックします。
 例えば、1/200 のデータを 1/100 で配置してしまったときは、「指定方法」の「縮尺」を ON にして「1/100」→「1/200」にします。
 寸法の数値が合っている場合は、「寸法数値はそのまま」を ON にします。



・「点間計測」で計測したときに縮尺が決まらない寸法の場合には、「伸縮」ダイアログの倍率を設定して縮尺を合わせます。





- JWW データを読み込むときには、JWW データの縮尺を確認できます。これをもとに「倍率」を変更できます。



- JWW データ、DXF データを読み込むときは、倍率は基本的に「1.0」、レイヤは「個別指定」もしくは「全てカレント」を指定してください。



共通機能



Jw_cad データ、DXF データを立体化する方法を教えてください。



平面図の「自動」メニューから「立体化」の「Jw_cad データ立体化」または「DXF/DWG 立体化」を選択します。



- ・物件初期設定：その他」の「平面詳細図入力を有効にする」が ON の場合、「自動」メニューの「立体化」の「Jw_cad データ立体化」および「DXF/DWG 立体化」を選択することはできません。



Jw_cad データを立体化する方法

1

平面図の「自動」メニューから「立体化」の「Jw_cad データ立体化」を選びます。



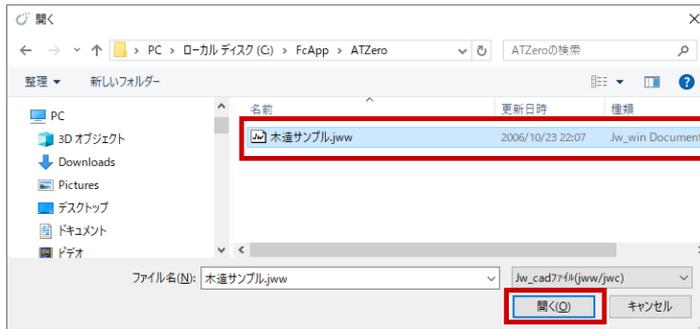
2

配置図、各階平面図の図面が 1 ファイルで管理されている場合は、「ファイル読込（全階）」をクリックします。

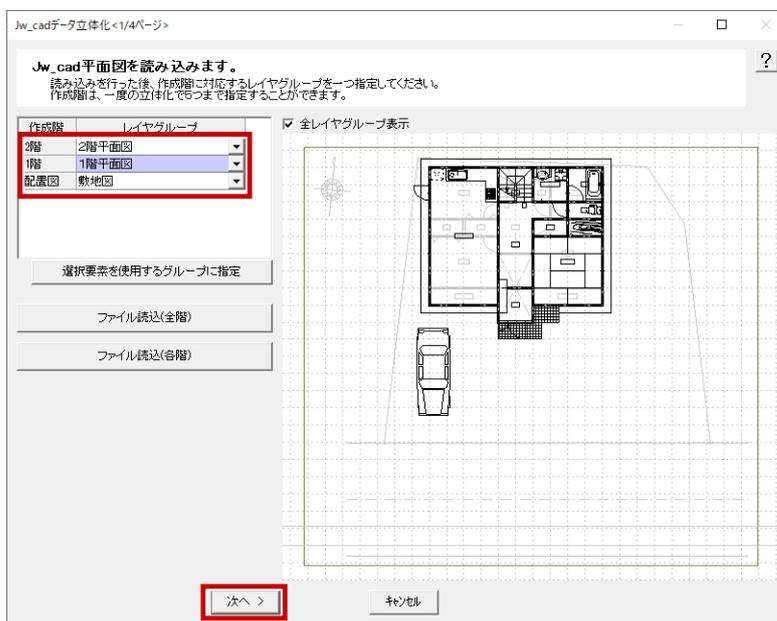
配置図、各階平面図の Jw_cad データがそれぞれ別のファイルに保存されている場合は、「作成階」で対象を選択してから「ファイル読込（各階）」をクリックします。



3 読み込む Jww データファイルを指定して「開く」をクリックします。



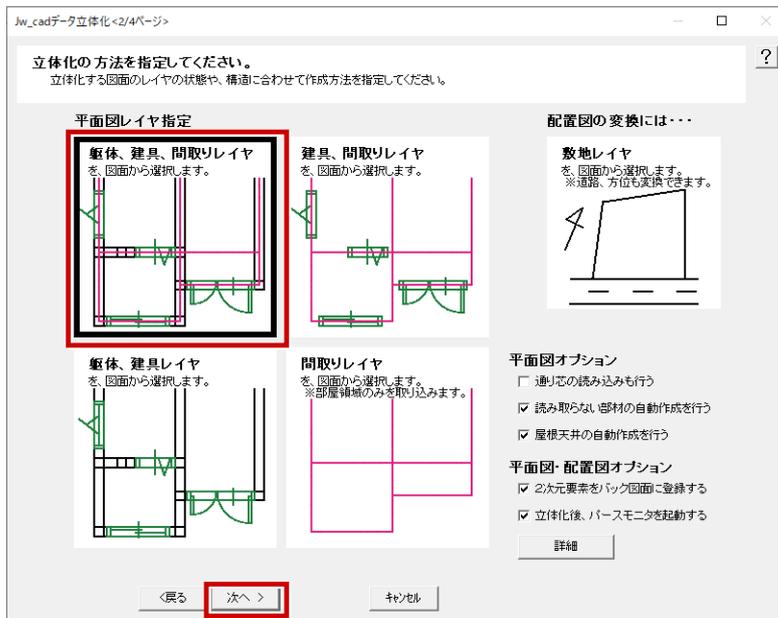
4 各階の「レイヤグループ」で、配置図と平面図の階ごとに目的のレイヤグループを設定し、「次へ」をクリックします。



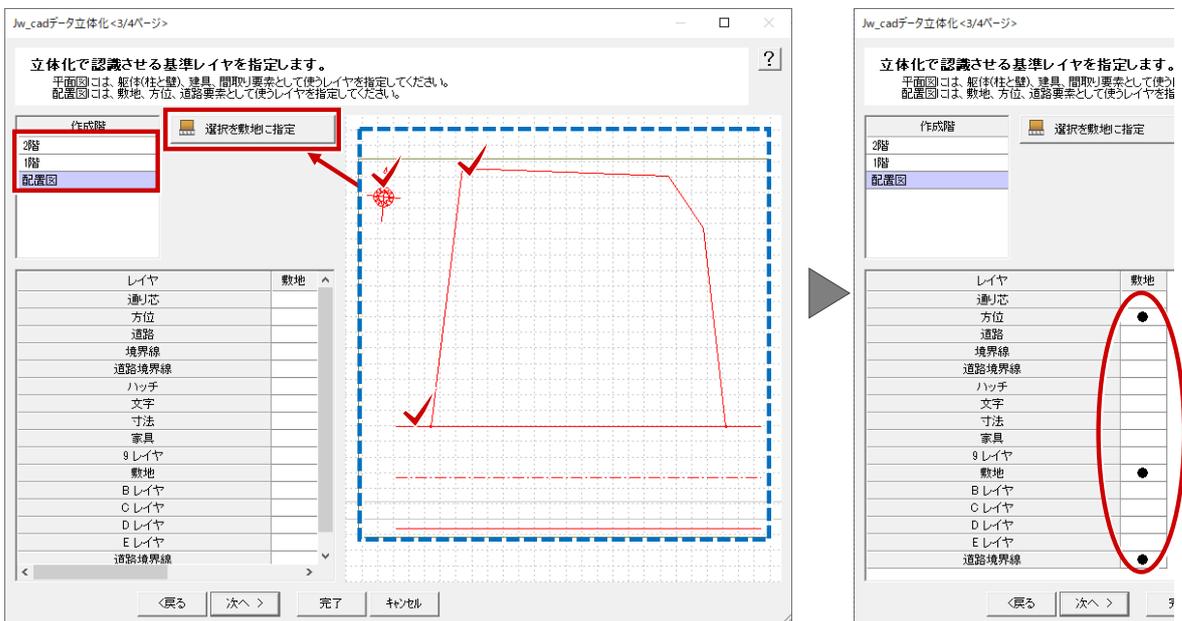
- レイヤグループが合っていない場合は、「全レイヤグループ表示」を ON にし、「作成階」の対象項目をクリックしてから図面データをクリックし、「選択要素を使用するグループに指定」をクリックします。



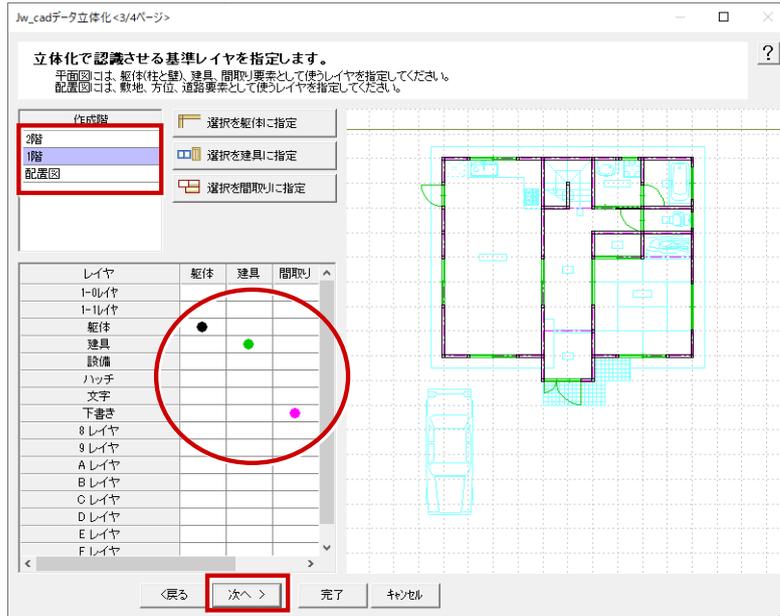
- 5 平面図に読み込むデータから使用するレイヤを指定します。
ここでは「躯体、建具、間取りレイヤ」を選択してONにし、「次へ」をクリックします。



- 6 「作成階」の「配置図」「1階」「2階」に読み込むデータでレイヤが合っているか確認します。
セットされていないデータがあれば、そのデータを選択して「選択を敷地に指定」「選択を躯体に指定」「選択を建具に指定」「選択を間取りに指定」をクリックします。

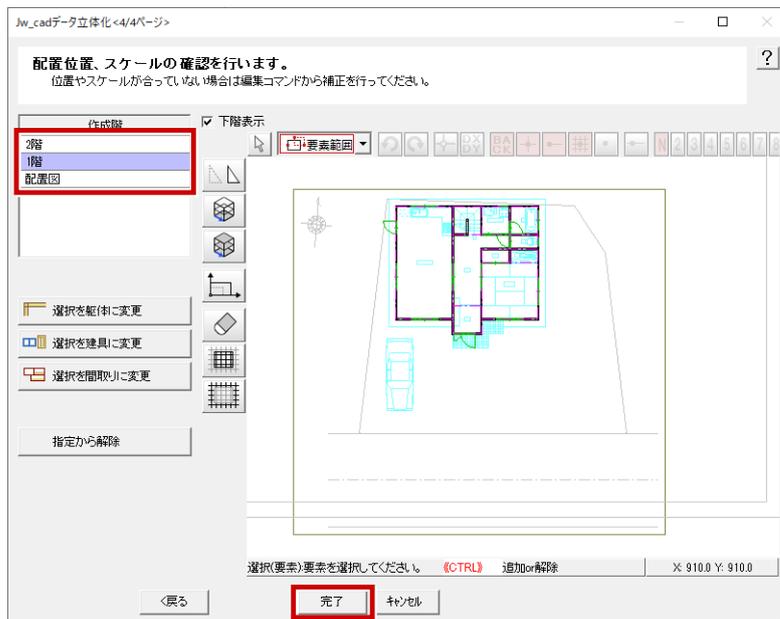


7 すべての「作成階」にレイヤをセットしたら、「次へ」をクリックします。

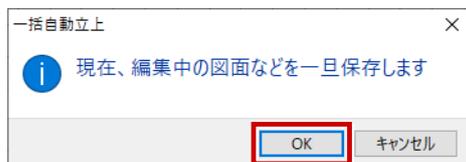


8 「作成階」の「配置図」「1階」「2階」を順次クリックして、位置や縮尺が合っているか確認して「完了」をクリックします。

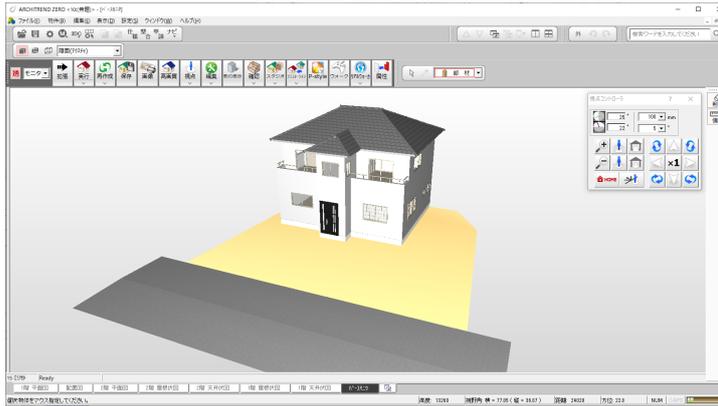
合っていない場合は、ツールを使ってデータの移動、伸縮を行います。



9 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



10 一括作成が開始します。終了すると、パースモニタが開きます。



DXF データを立体化する方法

1 平面図の「自動」メニューから「立体化」の「DXF/DWG 立体化」を選びます。

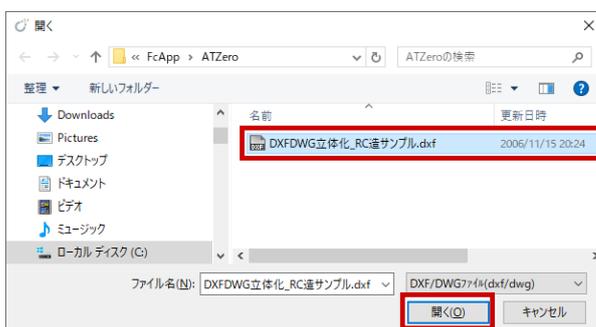


2 配置図、各階平面図の図面が 1 ファイルで管理されている場合は、「ファイル読込 (全階)」をクリックします。

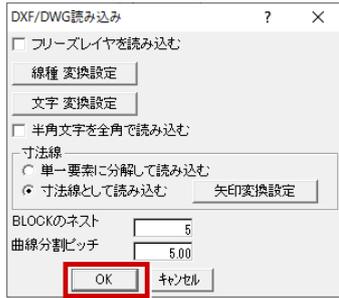
配置図、各階平面図の DXF データがそれぞれ別のファイルに保存されている場合は、「作成階」で対象を選択してから「ファイル読込 (各階)」をクリックします。



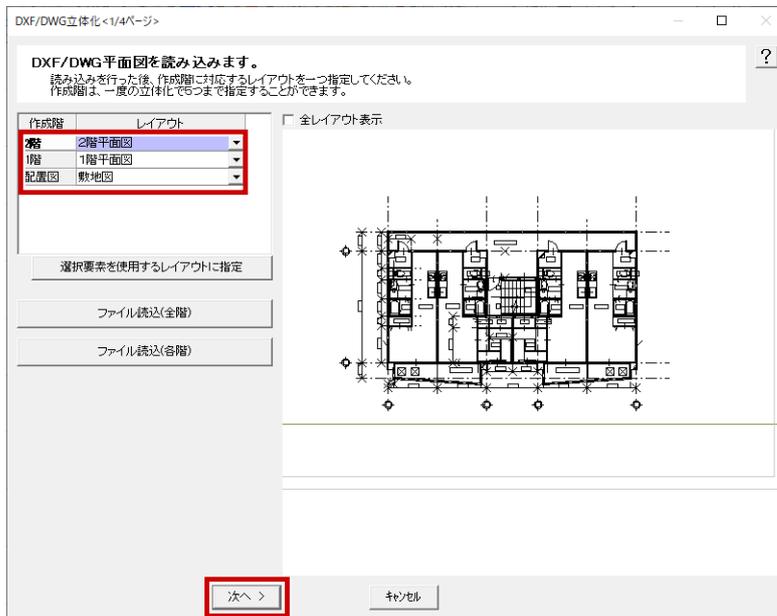
3 読み込む DXF データファイルを指定して「開く」をクリックします。



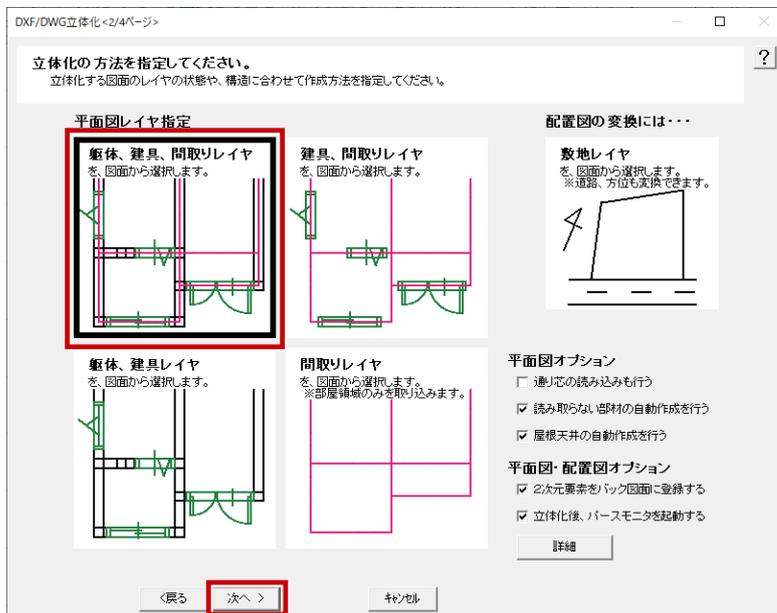
4 DXFデータを読み込む条件を設定して、「OK」をクリックします。



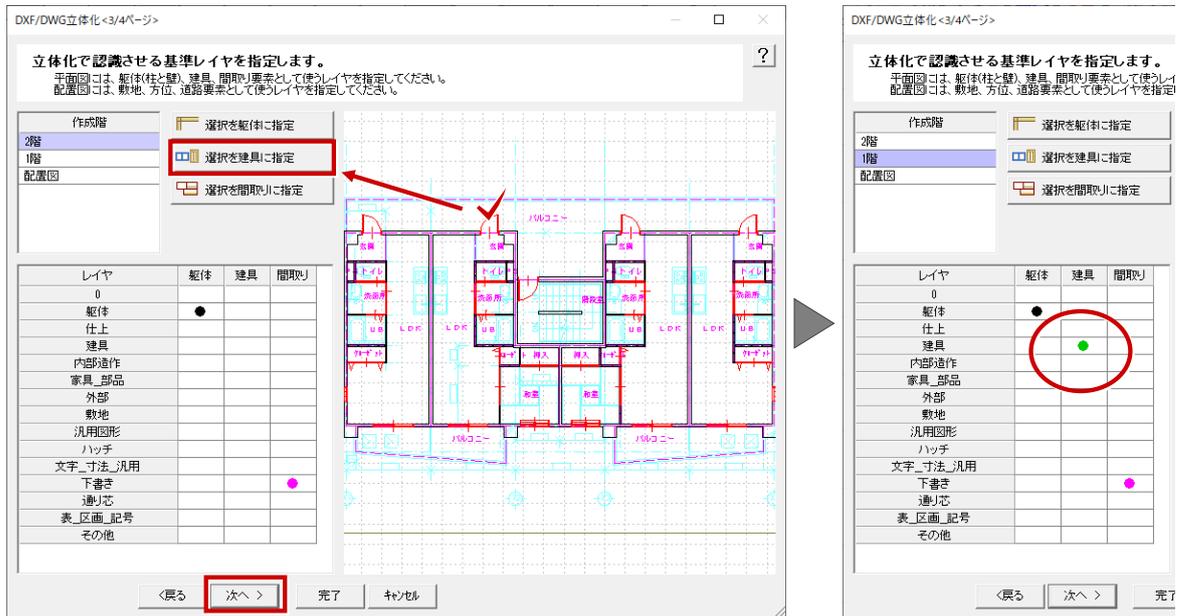
5 各階の「レイアウト」で、配置図と平面図の階ごとに目的のレイアウトを設定します。設定ができれば、「次へ」をクリックします。



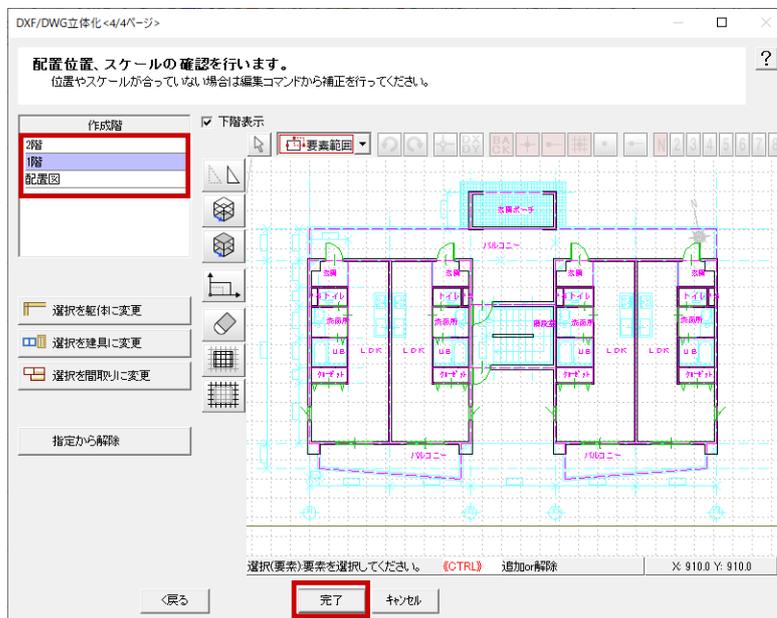
6 平面図に読み込むデータから使用するレイヤを指定します。ここでは「躯体、建具、間取りレイヤ」を選択してONにし、「次へ」をクリックします。



- 7 「作成階」の「配置図」「1階」「2階」に読み込むデータでレイヤが合っているか確認します。セットされていないデータがあれば、そのデータを選択して「選択を敷地に指定」「選択を躯体に指定」「選択を建具に指定」「選択を間取りに指定」をクリックします。すべての「作成階」にレイヤをセットしたら、「次へ」をクリックします。



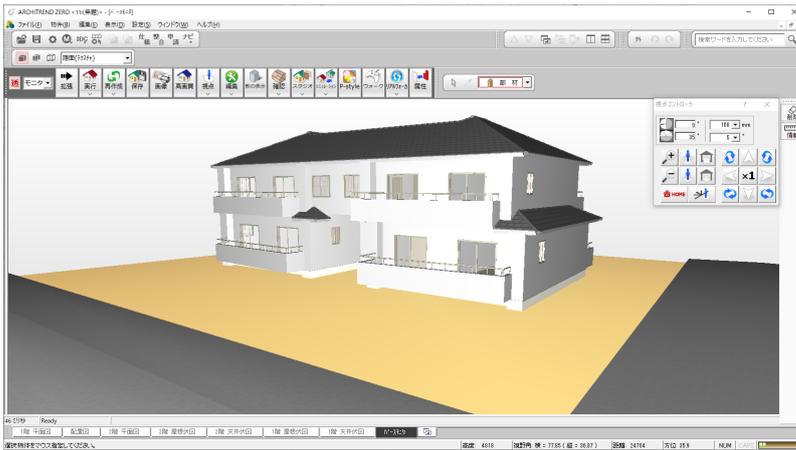
- 8 「作成階」の「配置図」「1階」「2階」を順次クリックして、位置や縮尺が合っているか確認して「完了」をクリックします。合っていない場合は、ツールを使ってデータの移動、伸縮を行います。



- 9 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



10 一括作成が開始します。終了すると、パースモニタが開きます。



共通機能

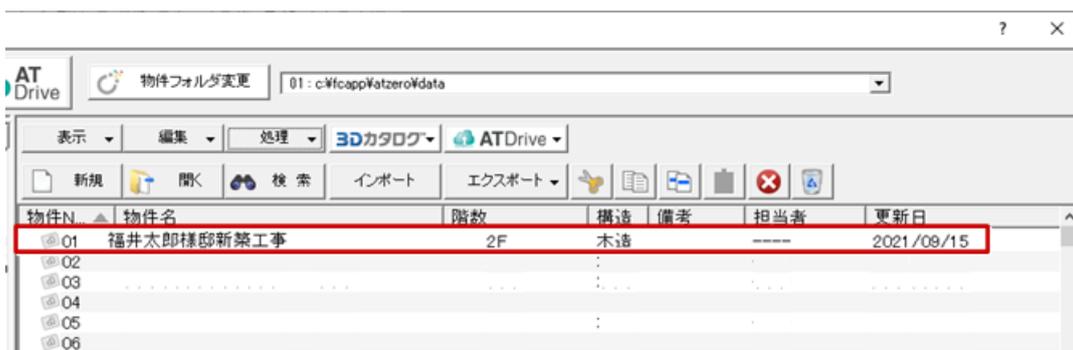


複数の図面を JWW データに書き出す方法を教えてください。



「物件選択」ダイアログの「処理」メニューの「外部ファイル書き出し/プレゼンデータ作成」から書き出しができます。
※ DXF、DWG、SXF も同様の操作で書き出しできます。

1 物件を選びます。



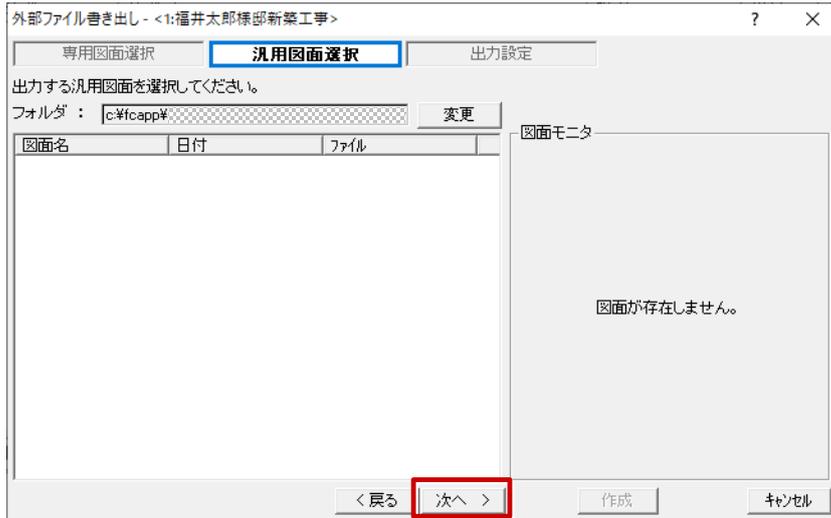
2 「処理」メニューから「外部ファイル書き出し/プレゼンデータ作成」を選びます。



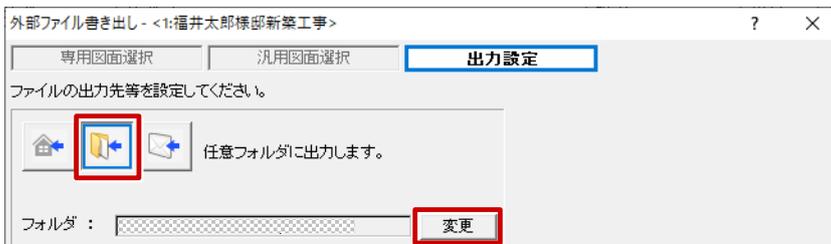
3 「外部ファイル書き出し」ダイアログの「専用図面選択」で Ctrl キーを押しながら対象の図面をクリックし、「次へ」をクリックします。



4 「汎用図面選択」で対象の図面を選びます。対象の図面がなければ「次へ」をクリックします。



5 「出力設定」でファイルの書き込み先を設定します。今回は「任意フォルダに出力」を選択し、「変更」から出力先をデスクトップに設定します。



	物件フォルダに出力	物件のフォルダの「プレゼン」「汎用」フォルダに出力します。
	任意フォルダに出力	「変更」をクリックして、出力先のフォルダを指定します。
	メールに添付して送信	作成後、新規作成のメールが開き、添付されます。

6 「汎用データ」をONにして「JWW」を選び、「作成」をクリックします。設定した出力先にデータが作成されます。



デスクトップに
作成される

図面印刷



Q Jw_cad で作成した図枠を登録する方法を教えてください。



A 「図枠無し」の図枠を配置して、「ファイル」メニューの「ファイル読み込み」で Jw_cad データを読み込みます。

現在の図枠をなしにする

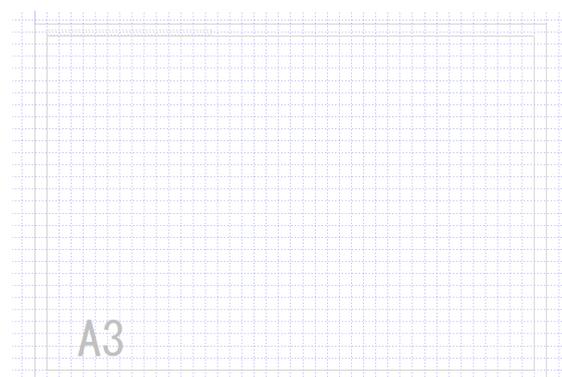
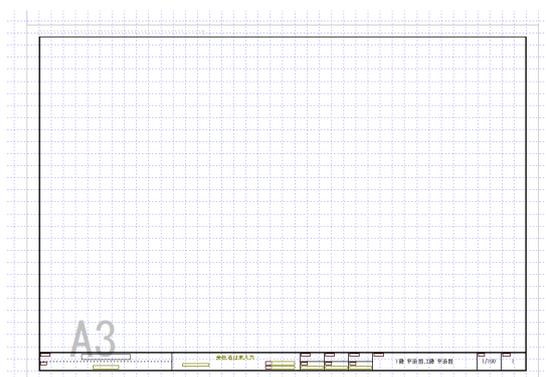
- 1** 「図枠モード」に切り替えます。



- 2** 「図枠配置」をクリックします。



- 3** 「図枠無し」をダブルクリックします。

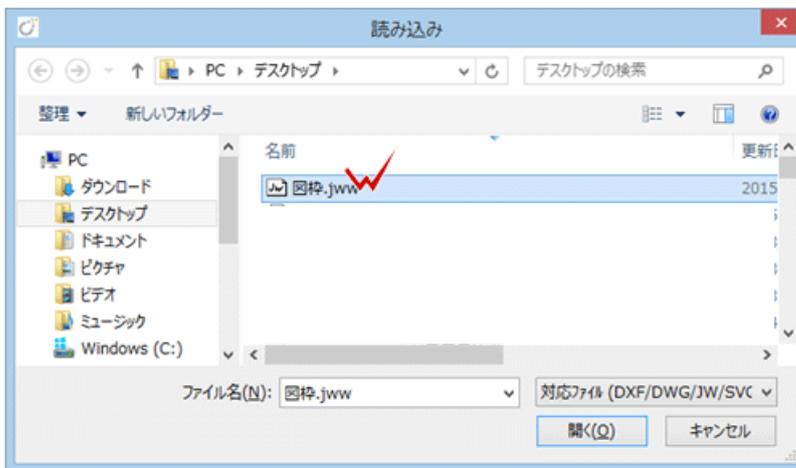


Jw_cad の図枠を読み込む

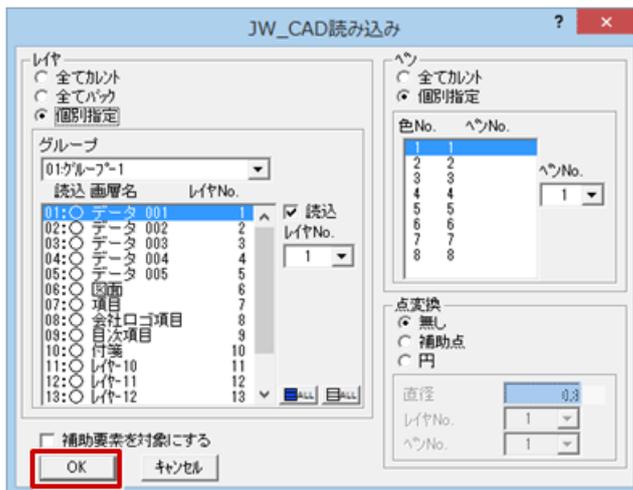
- 1 「ファイル」メニューから「ファイル読み込み」を選びます。



- 2 Jw_cad のファイルをダブルクリックします。



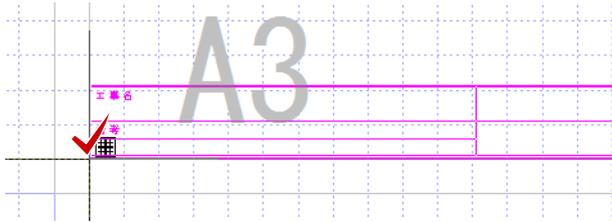
- 3 「JW_CAD 読み込み」ダイアログの「OK」をクリックします。



- 4 「倍率」を確認します。
等倍で配置するとき、「1」のままにしておきます。



5 データの配置位置をクリックします。



図枠項目を配置する

図枠内に図面名称、縮尺、物件名、会社名などの図枠項目を配置しておくことで、図面を配置したときに図面から情報を取得して、これらの内容が自動で表示されるようになります。

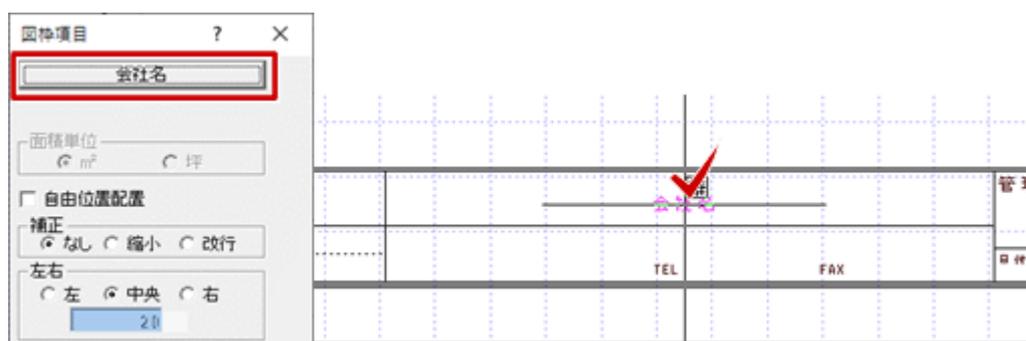
1 「図枠項目」をクリックします。



2 「図枠項目」ダイアログの「図面名称」をクリックして、「図枠分類選択」ダイアログの「会社名」を選びます。



3 図枠項目「会社名」を配置します。



4 同様な手順で、必要な項目を配置していきます。



- ・配置した図枠項目を変更するには、図枠項目を「属性変更」して、「項目」のボタンをクリックします。
※各項目の連動元は、ヘルプをご参照ください。

図枠を登録する

- 1 「図枠登録」をクリックします。



- 2 「図枠登録」ダイアログの空欄を選び、「OK」をクリックします。

- 3 「名称変更」ダイアログの「名称」に図枠の名称を入力して、「OK」をクリックします。

図面印刷



図面の縮尺を変更して印刷する方法を教えてください。



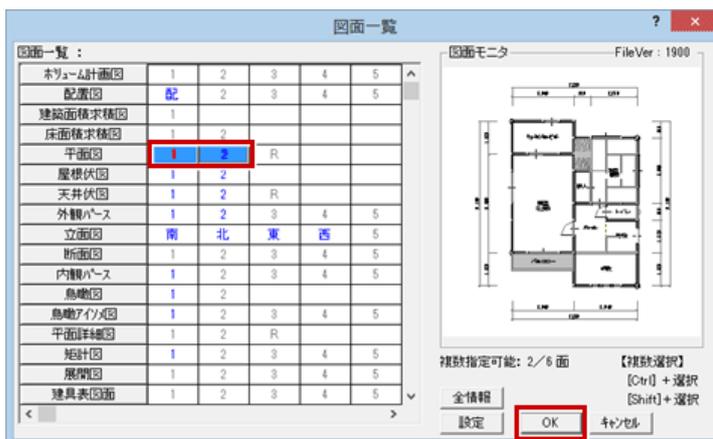
図面の配置時に「図面配置」ダイアログで縮尺を変更します。
配置した図面の縮尺は「属性変更」で変更できます。

図面を配置するとき縮尺を変更する方法

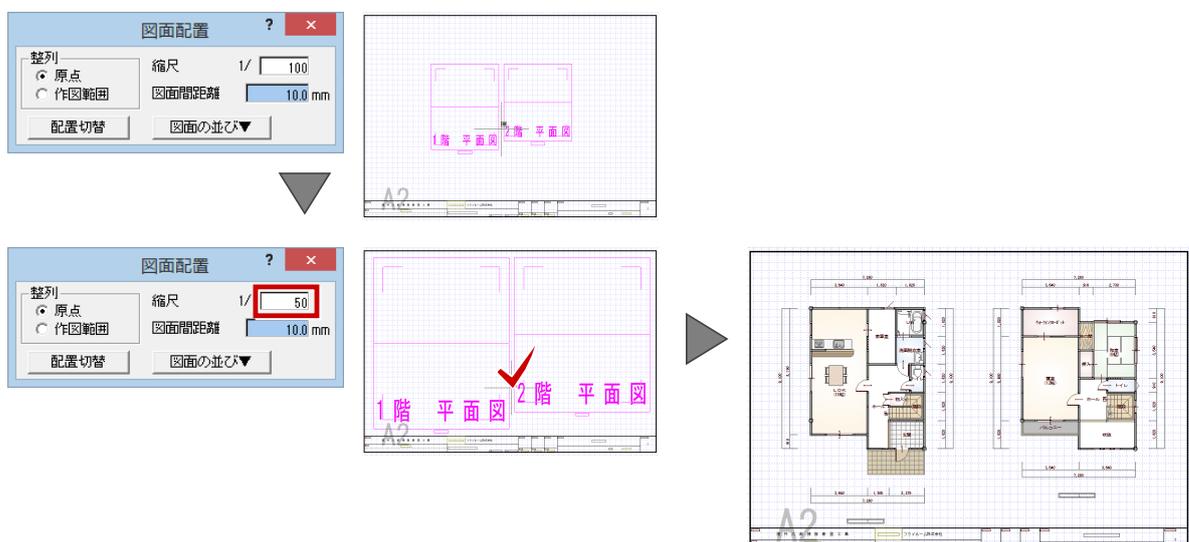
1 「図面配置」をクリックします。



2 「図面一覧」から配置する図面を選んで「OK」をクリックします。



3 「図面配置」ダイアログの「縮尺」を変更して、図面の配置位置をクリックします。



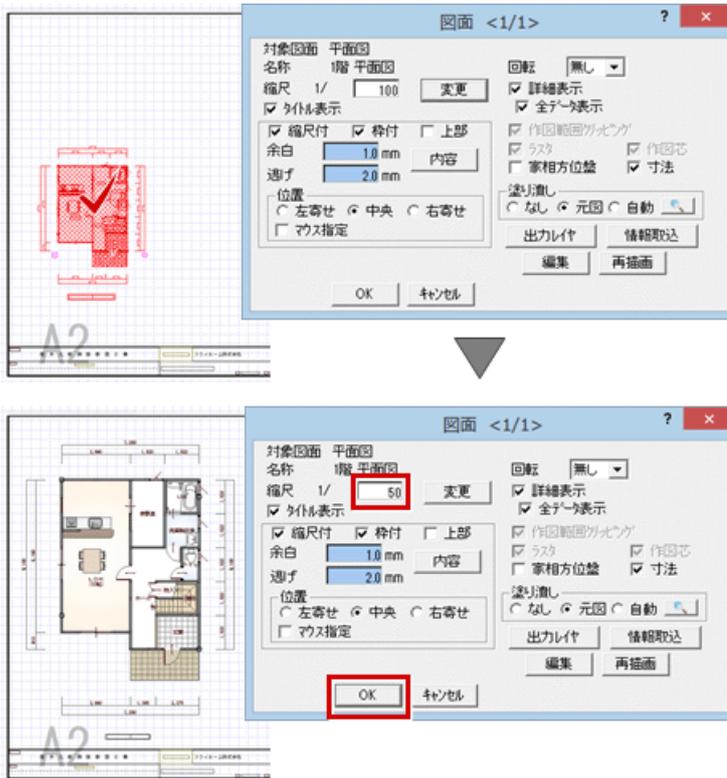
配置されている図面の縮尺を変更する方法

1 「属性変更」をクリックします。

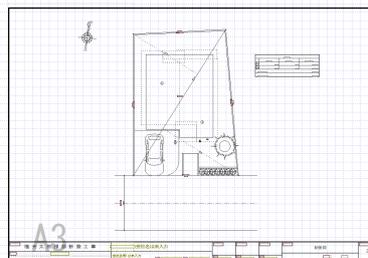
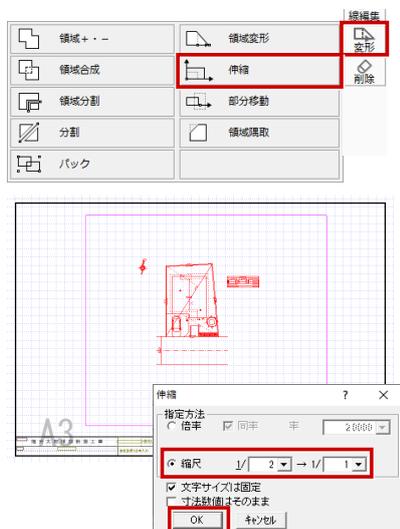


2 図面をクリックします。

3 「図面」ダイアログの「縮尺」を変更して「OK」をクリックします。



・「変形」メニューの「伸縮」で縮尺を変更しても、印刷には反映されません。



【印刷物】

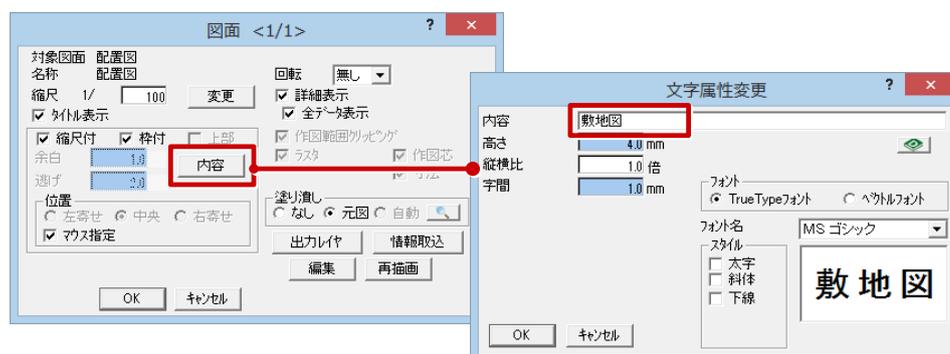
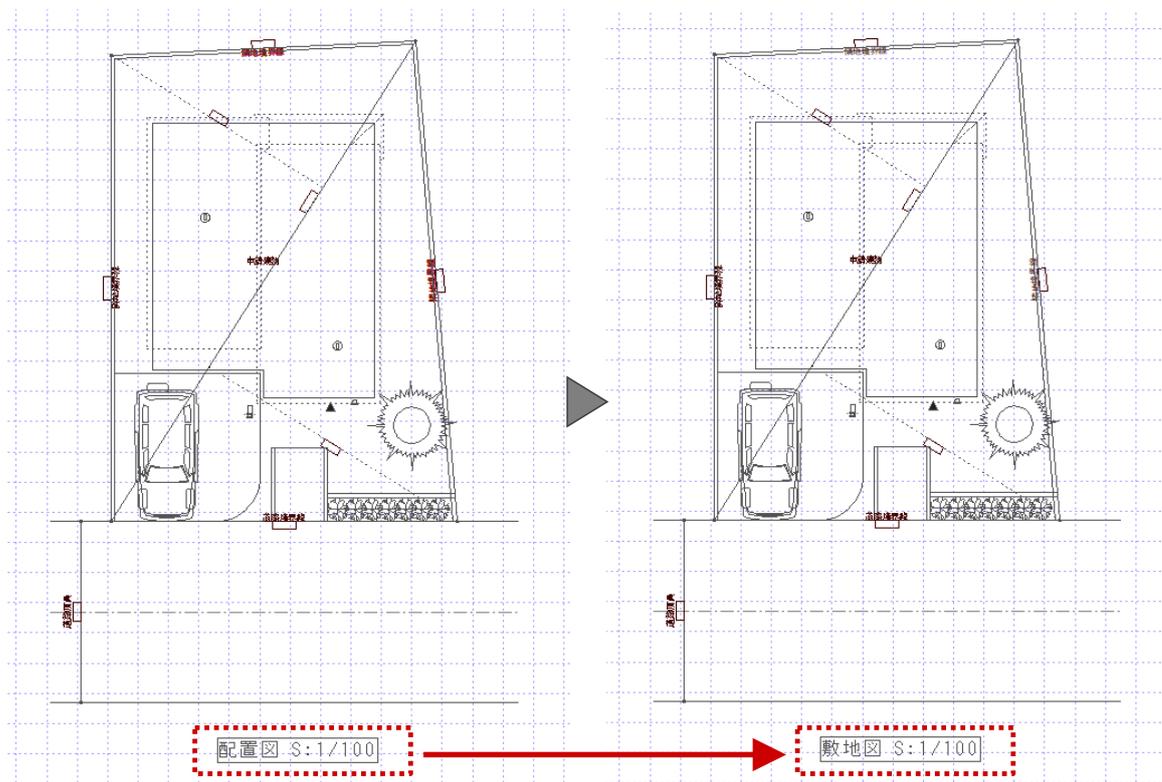
図面印刷

Q

配置した図面のタイトルを変更する方法を教えてください。

A

図面の属性変更で開くダイアログにある「内容」で、タイトルの文字列を変更できます。



- ・配置図、立面図、断面図、矩計図など、各図面にて「ファイル」メニューの「図面名変更」で名称を変更できるものは、この名称がタイトルの初期値となります。

図面印刷



配置した図面の一部が表示されないときの対処方法を教えてください。



作図範囲外にあるデータが表示されない場合は、配置した図面の属性で「作図範囲クリッピング」をOFF、作図範囲内のデータが表示されない場合は、「全データ表示」をONにします。

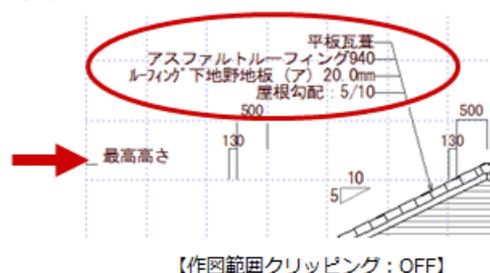
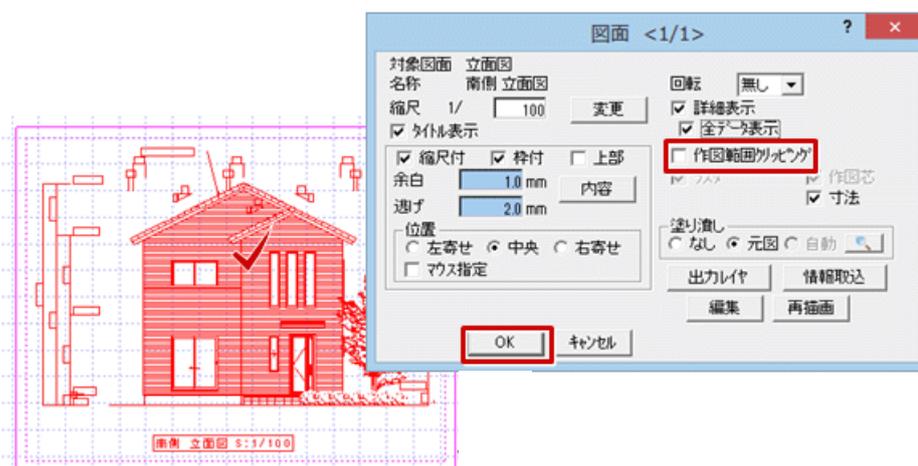
作図範囲外にあるデータが表示されない場合

1 「属性変更」をクリックします。



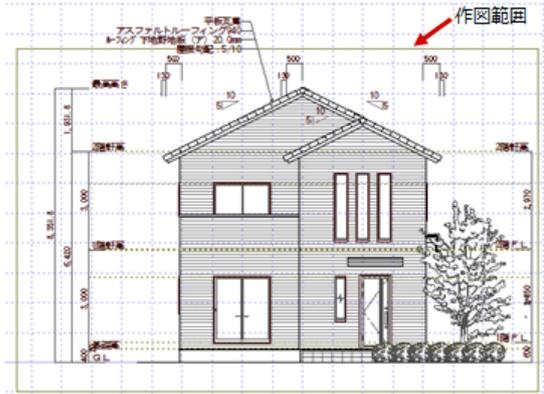
2 図面をクリックします。

3 「図面」ダイアログの「作図範囲クリッピング」をOFFにして、「OK」をクリックします。
※図面データが、作図範囲に完全に内包されている場合は、「作図範囲クリッピング」は選択不可の状態になっています。





- ・「作図範囲クリッピング」とは、元図面（ここでは南側立面図）の作図範囲で、作図範囲外にもデータが存在する場合に、作図範囲内のデータだけを出力の対象にするときは ON、作図範囲外のデータも出力の対象にするときは OFF にします。



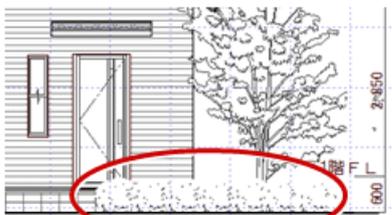
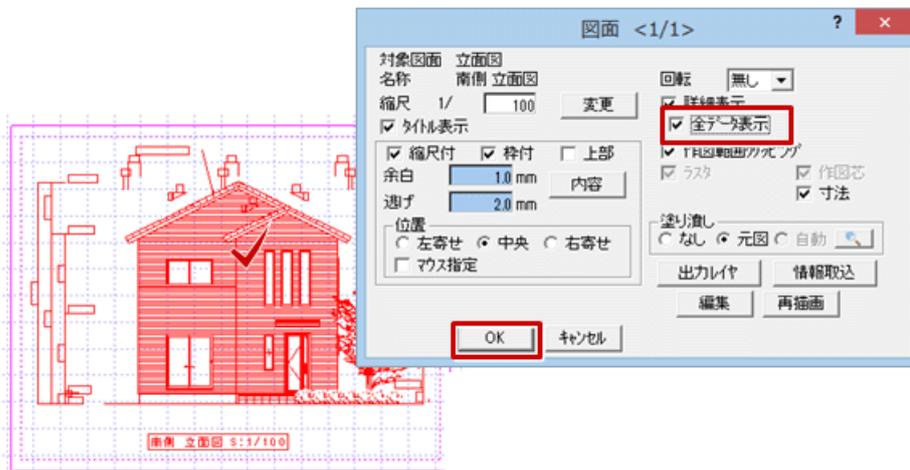
作図範囲内のデータがすべて表示されない場合

- 1 「属性変更」をクリックします。

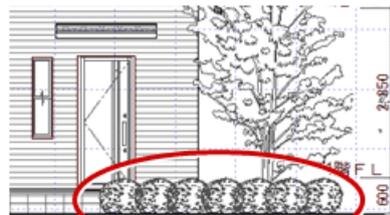


- 2 図面をクリックします。

- 3 「図面」ダイアログの「全データ表示」を ON にして、「OK」をクリックします。



【全データ表示：OFF】



【全データ表示：ON】



- ・「全データ表示」とは、図面を詳細表示するときに線分が 10,000 本を超える場合、データをすべて表示するときは ON、すべて表示しないときは OFF にします。なお、OFF にしたときに、10,000 本を超えた線分は画面ではすべて表示されませんが、印刷ではすべて印刷されます。

図面印刷

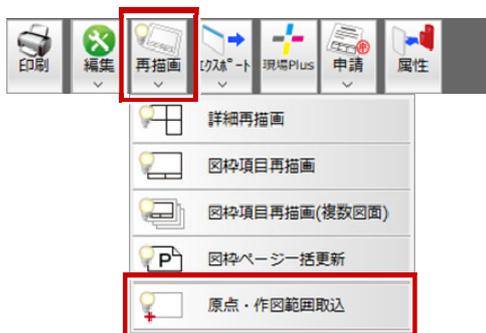


元の図面に変更した作図範囲を反映する方法を教えてください。



「再描画」メニューの「原点・作図範囲取込」で取り込みます。

1 「再描画」メニューから「原点・作図範囲取込」を選びます。



2 図面をクリックします。



- 複数図面の作図範囲を取り込みたい時には、範囲を指定して取り込みます。



図面印刷



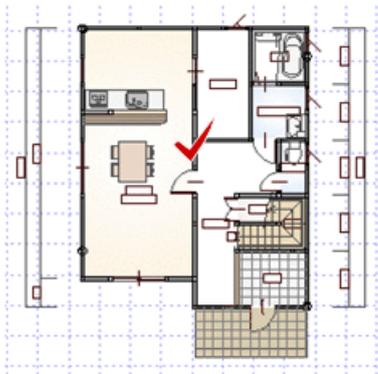
モノクロ（白黒）で印刷する方法を教えてください。



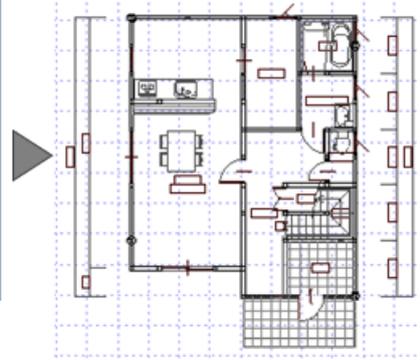
図面の属性の「塗り潰し」を「なし」に変更します。



1 図面印刷の「属性変更」をクリックして、図面を選択します。



2 「塗り潰し」の「なし」をONにして、「OK」をクリックします。



3 「印刷」をクリックして、印刷します。



図面印刷

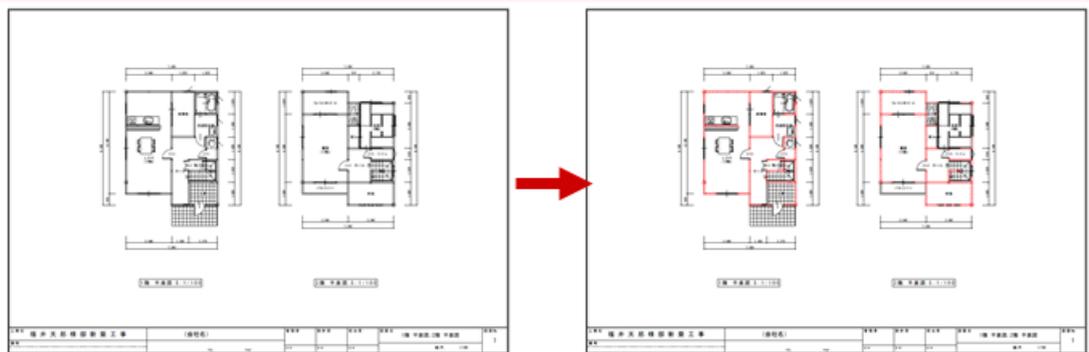
Q

線分を赤色で出力する方法を教えてください。

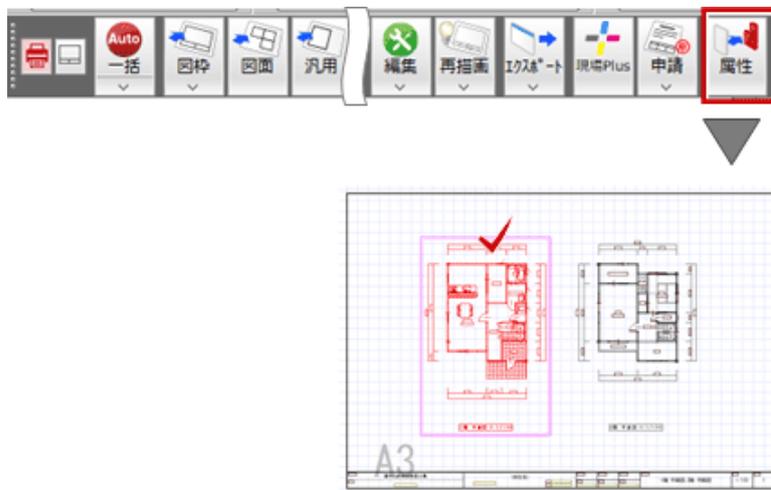
A

線分の要素属性を「ペン No.12」に設定し、印刷時の設定でペン No.12 の色を赤色に変更します。

※ 利用するペン番号に決まったルールはありませんが、図面の主要な部材に利用されている 1 番ペンから 3 番ペンは避けて、7 番目以降のペン番号を指定することをおすすめします。



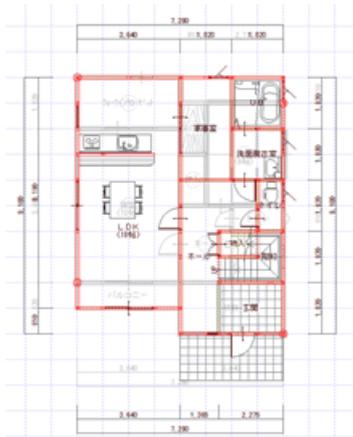
1 「属性変更」で平面図をクリックします。



2 「図面」ダイアログの「編集」をクリックします。



3 平面図にて、線色を赤色にする部材を選択した状態にします。

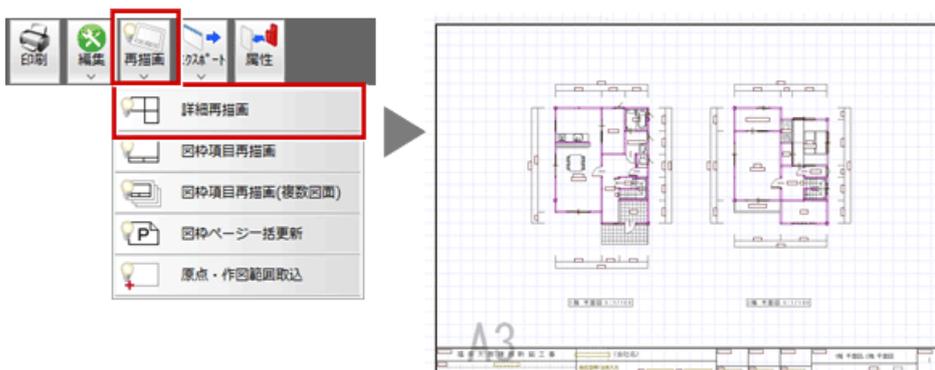


4 「情報」メニューから「要素属性変更」を選んで、「ペン番号」を「No.12」に変更します。



5 同様にして、他の図面もペン No.12 に変更します。

6 図面印刷に戻り、「再描画」メニュー から「詳細再描画」を選び、平面図を更新します。

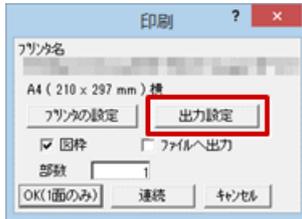


7 「印刷」をクリックします。

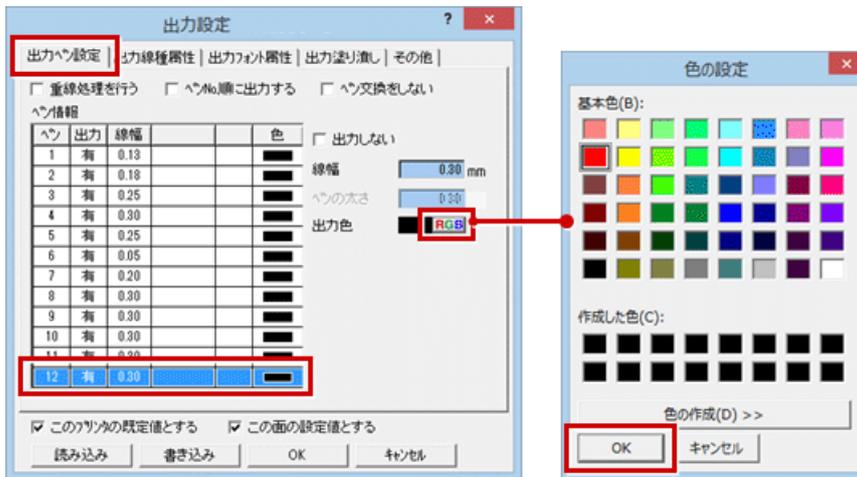


8 「更新日簡易チェック」ダイアログが表示されたら、「継続」をクリックします。

9 「印刷」ダイアログで「出力設定」をクリックします。



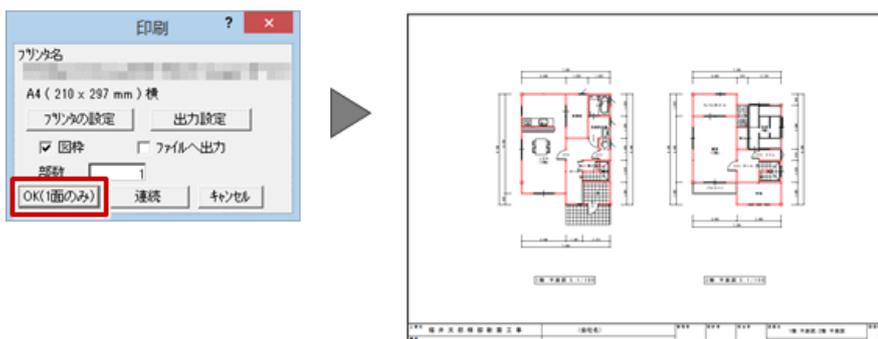
10 「出力ペン設定」タブで「ペン No.12」を選び、「出力色」の「RGB」をクリックして赤色に変更します。



11 設定したら、「OK」をクリックします。



12 「印刷」ダイアログの「OK (1面のみ)」をクリックして印刷します。



図面印刷



図面を PDF に出力する方法を教えてください。

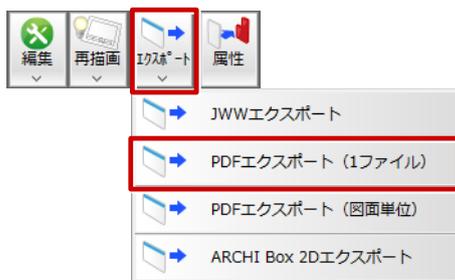


図面印刷の「エクスポート」メニューの「PDF エクスポート (1 ファイル)」を使用して、PDF ファイルに出力します。

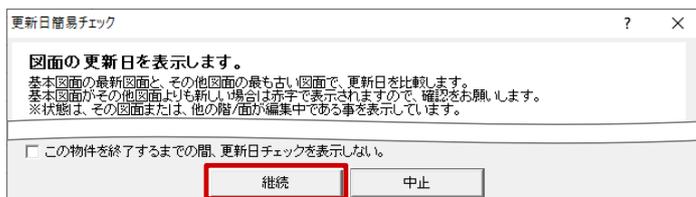
※複数面をまとめて出力して、1 本のファイルにすることもできます。

※各図面の「ファイル」メニューの「印刷」でも、PDF に出力することができます。

1 図面印刷を開いて、「エクスポート」メニューから「PDF エクスポート (1 ファイル)」を選びます。



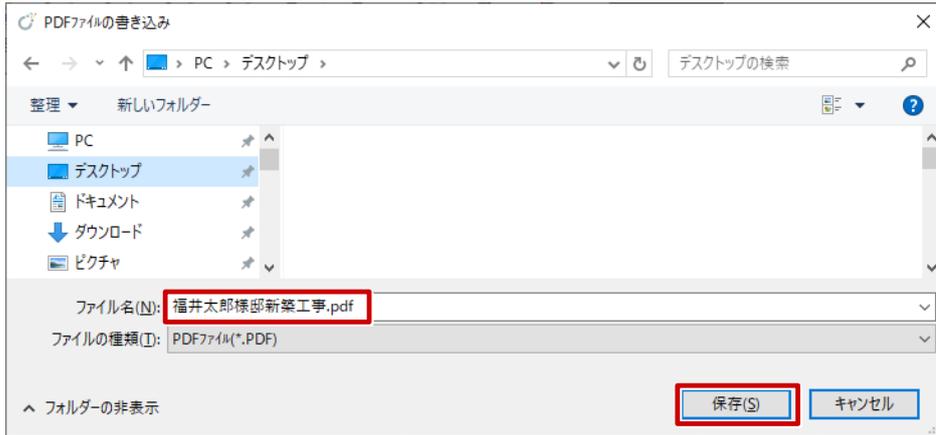
2 「更新日簡易チェック」ダイアログの「継続」を選びます。



3 「PDF エクスポート (1 ファイル) (図面選択)」ダイアログで図面を選び、「OK」をクリックします。

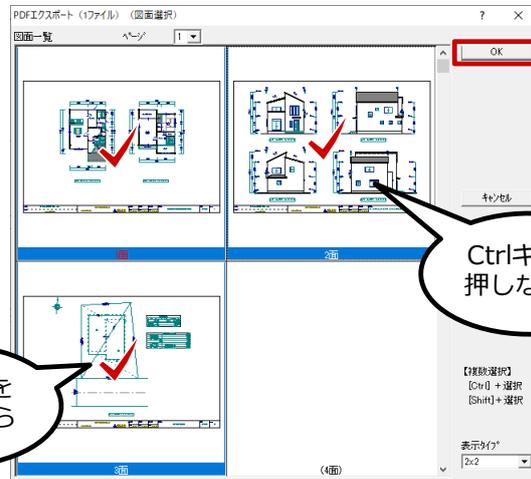


4 「PDF ファイルの書き込み」ダイアログで保存先とファイル名を設定して、「保存」をクリックします。



- ・複数面をまとめて出力して、1本のファイルにするには、「PDF エクスポート (1 ファイル) (図面選択)」ダイアログで Ctrl キーを押しながら出力する面をクリックします。

※選択を解除するには、Ctrl キーを押しながら面をクリックします。



- ・各図面の「ファイル」メニューの「印刷」でも、「プリンター名」を「Antenna House PDF Driver 6.0」に切り替えることで、図面を PDF に変換できます。

